FUJITSU

42型ワイドプラズマディスプレイ
形名 PDS4229J

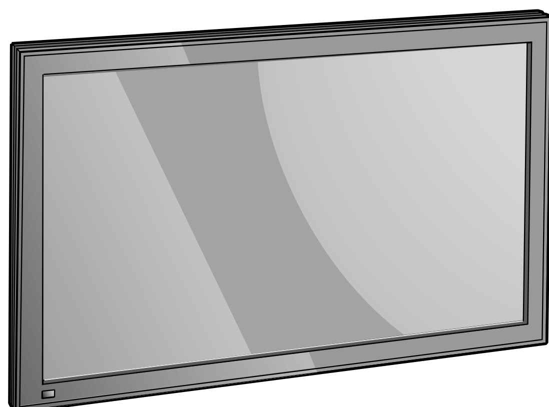
Plasmavision®

Plasmavision

取扱説明書

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
特に、安全上のご注意は必ず読んで正しくお使いください。
ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお役に立ちます。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに「保証書」とともに必ず保存してください。

保証書別添



株式会社 富士通ゼネラル

目 次

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
この項目は、いずれも安全上に関する内容ですので、必ず守ってください。
「警告」「注意」の意味は次のようになっています。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定されるものおよび物的損害のみの発生が想定されるもの。

絵表示について

⚠	⚠ 記号は、警告・注意を告げるものです。
🛇	🛇 記号は、禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くの絵は具体的な禁止内容を表しています。（左図の場合は、分解や改造の禁止）
●	● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。記号の中の絵は具体的な指示内容を表しています。（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください）

据付け時

⚠警告

ぐらついた台の上や不安定な所に据え付けないでください。

禁止

直接床に置いたり壁に立てかけたりしないでください。転倒によるケガや火災・感電の原因となります。

熱器具などを近付けないでください。

禁止

直射日光の当たる所やエアコンの吹出口近く、ストーブなどの近くに置くとキャビネットが変形したり、内部が高温となり火災の原因となります。

湿気やホコリの多い所に据え付けないでください。

禁止

水蒸気、油煙などの近くに置かないでください。火災・感電の原因となります。

電源プラグは､必ず本機の近くの容易に抜き差しできる場所のコンセントを使用してください。

必ずする

本機に異常があるときは､すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください｡そのままにしておきますと火災・感電の原因となります。

通風孔をふさぐような据付けはしないでください。

禁止

カーテンやテーブルクロスなどを掛けたりしないでください。また､あお向けや逆さまにするなどの状態でご使用になると内部が高温となり火災の原因となります。

屋外や湿気の多い場所に据え付けないでください。

禁止

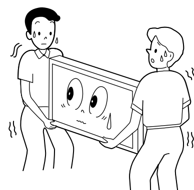
風呂場やシャワー室などの湿気の多い場所で使用しますと火災・感電の原因となります。

据付け時

⚠警告

据え付けるときや移設するときは、販売店に依頼してください。

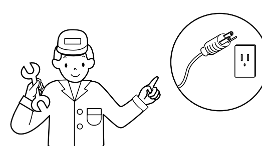




ご自分で据付け工事や移設工事をされると、落下、倒れによるケガや火災・感電の原因となります。必ず据え付けてから使用してください。

本機の電源プラグは、アース付3芯プラグですのでコンセントが2芯専用の場合は、アース工事をしてください。



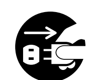


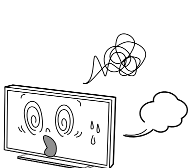
アース工事をしないと感電の原因となります。販売店にご相談ください。

ご使用時

⚠警告

煙が出る、異臭がするなどの異常があるときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

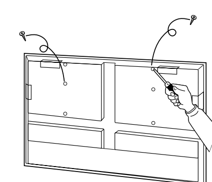




異常状態のときは危険ですので、必ず電源プラグを抜いて煙が出なくなるのを確認してから販売店にご相談ください。そのままにしておきますと火災・感電の原因となります。

裏ブタ、キャビネットカバーをはずしたり分解や改造をしないでください。

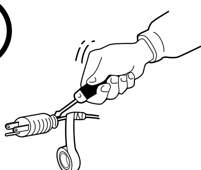




内部には電圧の高い部分や温度の高い部分があり、触れるとやけどや感電の原因となります。

電源コードやプラグを破損しないようにしてください。

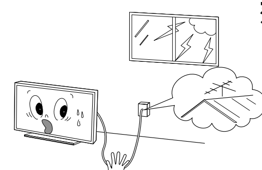




傷付けたり、加工しないでください。また重い物を載せたり、加熱したりすると破損することがあり、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りはじめたら、本機および電源プラグには触れないでください。

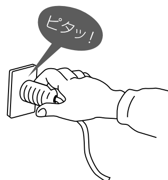




落雷で感電や火災の原因となります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

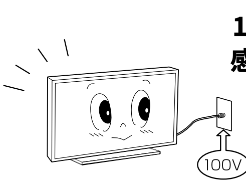




差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となります。

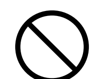
電源は交流１００V専用コンセントを使用してください。

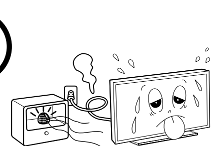




１００V 以外の電源は火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグにストーブなどの熱器具を近付けないでください。

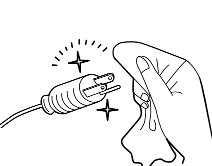




電源ケーブルを高温部に近付けないでください。火災の原因となります。

電源プラグにホコリが付着しないように定期的にホコリを取ってください。



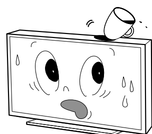


ホコリが付着すると電源プラグの絶縁不良により火災・感電の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

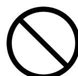
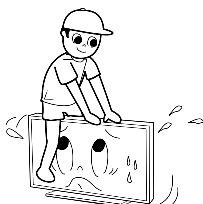
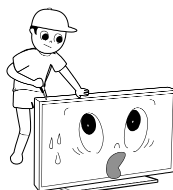
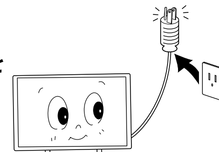
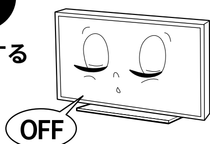
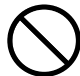
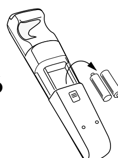
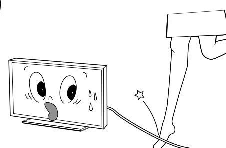
ご使用時

⚠警告

内部に異物や水などを入れないでください。	電源ランプが赤色で点滅しているときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
 禁止  火災・感電の原因となります。もし入ったときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。	 必ずする そのまま放置しますと、火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

ご使用時

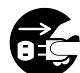
⚠注意

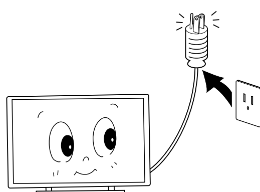
本機に乗らないでください。	放熱ファンに触れないでください。
 禁止  倒れたり、壊れたり、落ちたりしてケガの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。	 禁止  放熱ファンから熱風が出る場合があります。また、放熱ファンの中に棒などを入れないでください。ケガの原因となることがあります。
電源プラグを抜くときは電源プラグを持って抜いてください。	**長期間ご使用にならないときは安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。**
 必ずする  電源コードは必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張って抜くと芯線の一部が断線し、発熱・発火の原因となることがあります。	 プラグを抜く  プラグ部分にホコリがたまって、発煙・発火の原因となることがあります。
各機器との接続は、電源を切ってから行ってください。	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**
 必ずする  必ず、本機および接続する機器の電源を切ってから行ってください。切らずに行いますと感電の原因となることがあります。	 禁止  感電の原因となることがあります。
リモコンを長期間ご使用にならないときは、電池を取り出してください。	**接続ケーブルを引っ張ったり、引っかけたりしないでください。**
 必ずする  電池から液が漏れる場合があります。ぬれた液が皮膚についたり、目や口に入った場合は、すぐに水で洗い流してください。なお、目がかすむなどの症状が出た場合は、医師にご相談ください。	 禁止  倒れたり、落ちたりしてケガや故障の原因となることがあります。特に、お子様にはご注意ください。

ご使用時

⚠注意

移動させる場合や、お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

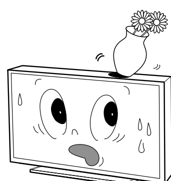

プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグや機器間の接続線をはずしたことを確認のうえ行ってください。接続したままですと感電の原因となることがあります。

本機の上に、物を置かないでください。

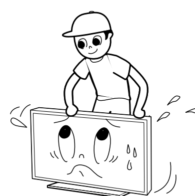

禁止



倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。

衝撃を与えないでください。

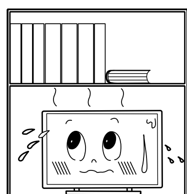

禁止



前面は、ガラスを使用しているため衝撃を与えるとガラスが割れ、ケガの原因となることがあります。

風通しの悪い所で使わないでください。

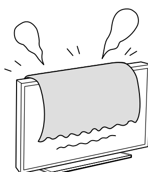

禁止



押入れ、本箱の中などの風通しの悪い所で使わないでください。本体内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

通風孔の上に物を載せないでください。


禁止



本機にテーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、他の機器を密着させて載せたりして、通風孔をふさがないでください。本機内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

本機をあお向けや逆さまにして使用しないでください。

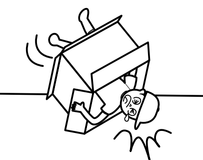

禁止



そのまま使用すると故障したり、火災の原因となることがあります。

梱包箱や梱包袋(ビニール袋)などは、お子様などが遊びに使わないように注意してください。


禁止



遊びに使ったりすると、ケガや窒息する原因となることがあります。

特長

本機はプラズマディスプレイパネルを使用し、奥行 8.5cm の薄型で、高画質、高機能なマルチメディアディスプレイを実現しました。

各種入力信号に対応

・ビデオ、S-ビデオ、RGB（mD-sub コネクター）、に加え、DVD やハイビジョンなどの高画質コンポーネントビデオ信号も入力できます。
・ビデオ入力は全世界の放送方式に対応しています。（NTSC ／ PAL ／ SECAM ／ PAL60 ／ 4.43NTSC）
・コンポーネントビデオ入力は DVD やハイビジョン、デジタル放送信号（色差信号）に対応しています。
・RGB 入力は VGA をはじめ、SVGA ／ XGA＊[1] 等の各種信号に対応しています。

ビデオデコーダー入力は 5 種類、RGB-PC 入力は 3 種類の表示

・ビデオ入力では普通の映像（4：3）をそのまま映し出すノーマルモードを含め、ワイド 1、ワイド 2、ズーム 1、ズーム 2 の 5 種類の表示ができます。
・RGB-PC 入力ではノーマル、ワイド、ズームの 3 種類の表示ができます。
・XGA（垂直周波数 75Hz 以下）の入力で Zoom 表示にすると、1024 × 768 の表示から 852 × 480 の範囲を抜き出すことができます。

縦型の設置も可能

広告表示などコンテンツに合わせて縦型の設置ができます。入力モードやメニューなどの画面表示も縦型の設置に合わせて対応できます。

便利なパワーマネージメント機能

DPMS（Display Power Management Signaling）機能を持ち、自動的に本機の消費電力を減少させます。

システム化に対応

・RS-232C により遠隔制御ができます。
・複数のディスプレイを使用している場合、モニターナンバーを指定して、特定のディスプレイのみを操作できます。
・めんどうな制御をせずに、信号の有無で入力切換をする Input Priority 機能があります。
・いたずらや誤動作を防止する、本体キーロック機能があります。

その他

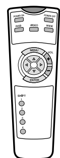
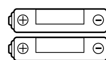
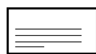
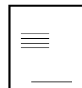
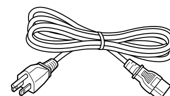
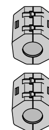
・自動クロック位相調整機能（Clock Phase の Auto 調整）により、めんどうなクロック位相の調整が不要です。
・色温度の設定が可能です。
・焼き付きを軽減させるホワイトスクリーン機能、スクリーンオービター機能があります。

＊1：XGA（1024 × 768）は、リフレッシュレート 60 ／ 70 ／ 75Hz モードに、SVGA（800 × 600）はリフレッシュレート 60 ／ 72 ／ 75 ／ 85Hz モードに対応しています。ただし XGA ／ SVGA は圧縮表示となります。

確認していただきたいこと

付属品の確認

リモコン…１個　単３形乾電池…２本　保証書…１通　取扱説明書…１冊　電源コード…１本　フェライトコア…２個

知っておいていただきたいこと

- 長時間同一画像を表示すると、その部分の輝度が変化し、画面の一部が残像として焼き付く場合があります。本機の寿命を長くするためにも、スクリーンオービター、ホワイトスクリーンの機能などを利用して、長時間、連続して同一画像（パターン）を表示しないようにしてください。（37ページ参照）
- プラズマディスプレイパネルは、非常に精密度の高い技術でつくられていて、99.99%以上の有効画素がありますが、ほんのわずかの画素が欠けたり常時点灯する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本機は動作中に内部の温度が上昇するのを防ぐために放熱用のファンが取り付けられています。
- 放熱ファンより熱風が出る場合がありますのでご注意ください。
- 他のAV機器と相互に悪い影響が生じる場合には、販売店にご相談ください。
  電磁波妨害などによる映像の乱れ、雑音や、赤外線リモコンの誤動作などが発生した場合には設置場所を変えてください。
- RGB入力端子に特殊なパソコンを接続すると、映像が正常に表示されないことがあります。
  この場合には、販売店にご相談ください。
- 内部に異常がある場合、内蔵されている保護回路により自動的に電源が「切」となります。その場合、電源ランプが赤色点滅し、故障したことをお知らせします。

⚠警告



電源ランプが赤色で点滅している場合は、何らかの異常があったことをお知らせしています。そのまま使用しますと、火災・感電の原因となりますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、42ページの「修理をご依頼される前に」に従って点検するか、販売店にご相談ください。

- 長時間、連続して画面を見ていると目が疲れます。ディスプレイから離れた場所からご覧になり、ときどき目を休めてください。
  （画面からの距離は、1.5m以上が目安です。）
- 定期的に内部の点検・掃除を、販売店にご依頼ください。

お知らせ 外部機器との接続ケーブルは付属されておりません。販売店にご相談のうえ、お買い求めください。

設置

本機内部の温度上昇を防止するため、本機周囲に風通しの空間を設けてください。また放熱をよくするために、本機周囲には下図の空間距離（最低距離）を設けてください。

本機を設置するときには、オプションの卓上スタンド、壁掛けユニットなどを必ず使用してください。
設置は、販売店にご依頼ください。
本機を設置するときには、各オプションの取付説明書をご覧ください。

※本機の周囲温度を 0 ～ 40℃の範囲に保つことができる場所に設置してください。
※本機を左右および背面方向へは傾けないでください。
※電源コード、接続ケーブルは引っかからないように、壁、床などの隅に配してください。
※縦型に設置する場合は、どちらを上側にしても設置できます。
※事故防止と地震などのときの安全確保のため、転倒防止の処置をしてください。

卓上スタンド

前　面	側　面
(cm) 上 10 / 左 10 / 10 右 / 卓上スタンド / 床 / 6	(cm) 1.5 / 壁 / 床

卓上スタンド以外（横型／縦型）

前　面	側　面
(cm) 上 10 / 左 10 / 10 / 6 下	(cm) 壁掛けユニット / 壁 / 1.5
(cm) 10 / 10 / 10 / 10	(cm) 壁掛けユニット / 壁 / 1.5

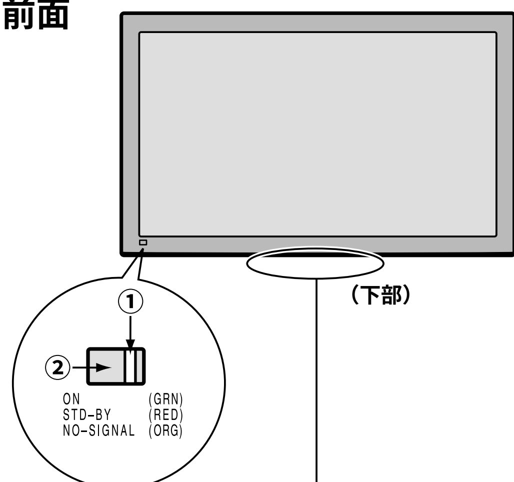
※縦型で利用するときには、文字の表示方向（32ページ参照）と縦横の設置について（37ページ参照）を必ず変更してください。

お願い 本機は、精密機器のため、輸送時には専用の包装材を利用してください。その際に、当社以外の包装材は、使用しないでください。

参照 オプション品については、39 ページを参照してください。

各部の名称と働き

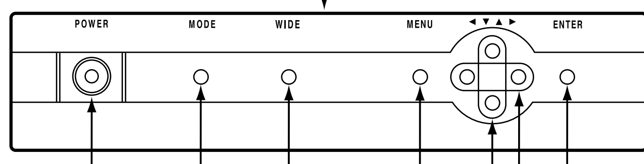
前面



①電源ランプ
電源の状態を表示します。
点灯（赤色）：待機状態
点灯（緑色）：電源「入」状態
点灯（橙色）：DPMS（節電機能）状態の節電状態
点滅（赤色）：内部異常（点滅のしかたで異常状態を示します。詳しくは 42 ページ参照）

②リモコン受信部
リモコンからの信号を受信します。

操作部（本体下部）



③電源ボタン（POWER）
電源を「入」「切」します。

④入力モード切換ボタン（MODE）
映像入力モードを切り換えます。

⑤ワイド切換ボタン（WIDE）
お好みのワイド画面に切り換えます。

⑥メニューボタン（MENU）
映像や音声の調整メニューを表示します。

⑦調整ボタン（VOLUME − / ＋）
メニュー画面表示中に▼ / ▲として、項目を選択するときに使います。

⑧調整ボタン（◀ / ▶）
メニュー画面表示中に ◀ / ▶として、項目を選択、または値を調整するときに使います。

⑨決定ボタン（ENTER）
調整メニューで設定内容を決定するときに使います。

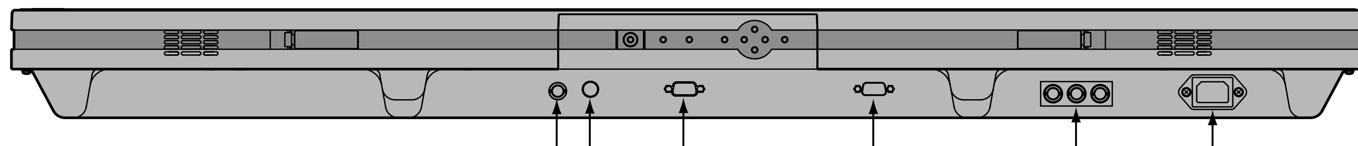
使い方

⚠ 警告



電源ランプが赤色で点滅しているとき（内部異常時）は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま放置しますと、火災・感電の原因となります。

底面



①ビデオ入力端子（VIDEO INPUT）
ビデオデッキやビデオディスクプレーヤーなどのビデオ出力端子と接続します。

② S ビデオ入力端子（S-VIDEO INPUT）
ビデオデッキやビデオディスクプレーヤー等の S ビデオ出力端子と接続します。

③ RS-232C 端子 (RS-232C)
パソコンで本機を制御するための端子です。パソコンの RS-232C 端子と接続します。
ケーブルを接続するときはフェライトコアを取り付けてください。（14 ページ参照）

④ RGB 入力端子 （RGB INPUT/mD-sub）
パソコンのモニター（アナログ RGB）出力端子またはデコーダー（デジタル放送チューナー）の出力端子と接続します。

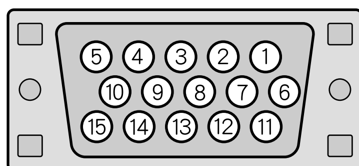
＊接続ケーブルは、お持ちのパソコンにより異なりますので、販売店にご相談し、お買い求めください。

⑤コンポーネントビデオ入力端子（COMPONENT VIDEO INPUT）
ハイビジョン機器や DVD プレーヤー等のコンポーネントビデオ出力端子（色差信号出力端子）と接続します。
ケーブルを接続するときはフェライトコアを取り付けてください。（14 ページ参照）

⑥電源入力端子
付属品の電源コードを接続します。

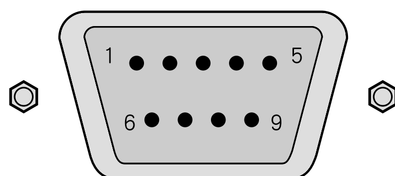
入力端子の説明

RGB 入力端子（RGB INPUT/mD-sub）



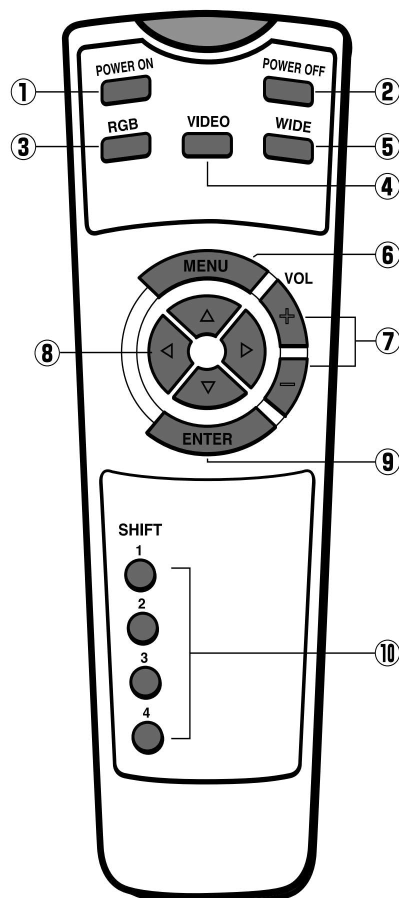
ピン番号	入力信号	ピン番号	入力信号
1	赤	9	ー
2	緑	10	グランド
3	青	11	ー
4	ー	12	ー
5	グランド	13	水平(H)同期(TTL)
6	グランド	14	垂直(V)同期(TTL)
7	グランド	15	ー
8	グランド	外枠	グランド

RS-232C端子（RS-232C）



ピン番号	信号
1	DCD(Data Carrier Detect)
2	RD(Received Data)
3	TD(Transmit Data)
4	DTR(Data Terminal Ready)
5	GND(Ground)
6	DSR(Data Set Ready)
7	RTS(Request To Send)
8	CTS(Clear To Send)
9	RI(Ring Indication)

リモコン



①電源「入」ボタン（POWER ON） → 16 ページ
電源を「入」にします。

②電源「切」ボタン（POWER OFF） → 16 ページ
電源を「切」にします。

③RGB 入力モード切換ボタン（RGB） → 17 ページ
RGB 入力モードを切り換えます。

④ビデオ入力モード切換ボタン（VIDEO） → 17 ページ
ビデオ入力モードを切り換えます。

⑤ワイド切換ボタン（WIDE） → 18-19 ページ
お好みのワイド画面に切り換えます。

⑥メニューボタン（MENU） → 20-38 ページ
メニュー画面を表示して映像や音声を調整するときに使用します。

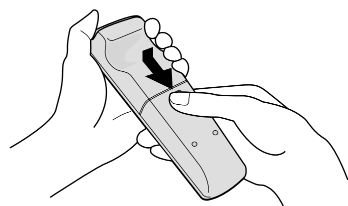
⑦音量調整ボタン（VOL ＋ / −）
この機種では使用しません。

⑧調整ボタン（◀ /▶/ ▲ / ▼） → 20-38 ページ
メニュー画面表示中に、項目を選択、または値を調整するときに使います。

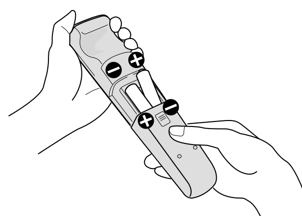
⑨決定ボタン（ENTER） → 20-38 ページ
調整メニュー、設定内容を決定します。

⑩モニター選択ボタン（SHIFT1 ～ 4） → 36 ページ
複数のディスプレイを使用している場合、ディスプレイに番号をつけて、1 つのリモコンで 4 台まで個別に操作ができます。

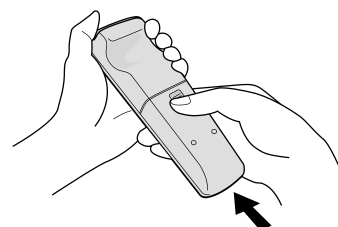
電池の入れ方



① カバーを押しながらスライドさせ、はずします。



② 単3形電池を2本入れます。（+）、（−）を間違えないように入れてください。



③「カチッ」と音がするまで、カバーを閉めます。

⚠ 注意



電池を交換するときは、2本とも新品で、元の電池と同じ型・種類のものを必ず使用してください。
使用済みの電池は各地域の規則、あるいは公的な環境規則に従って処分してください。

お 願 い 電池が消耗すると、リモコンが正しく動作しなくなります。新しい電池と交換してください。

リモコンの取扱い

リモコンの取扱い時のご注意

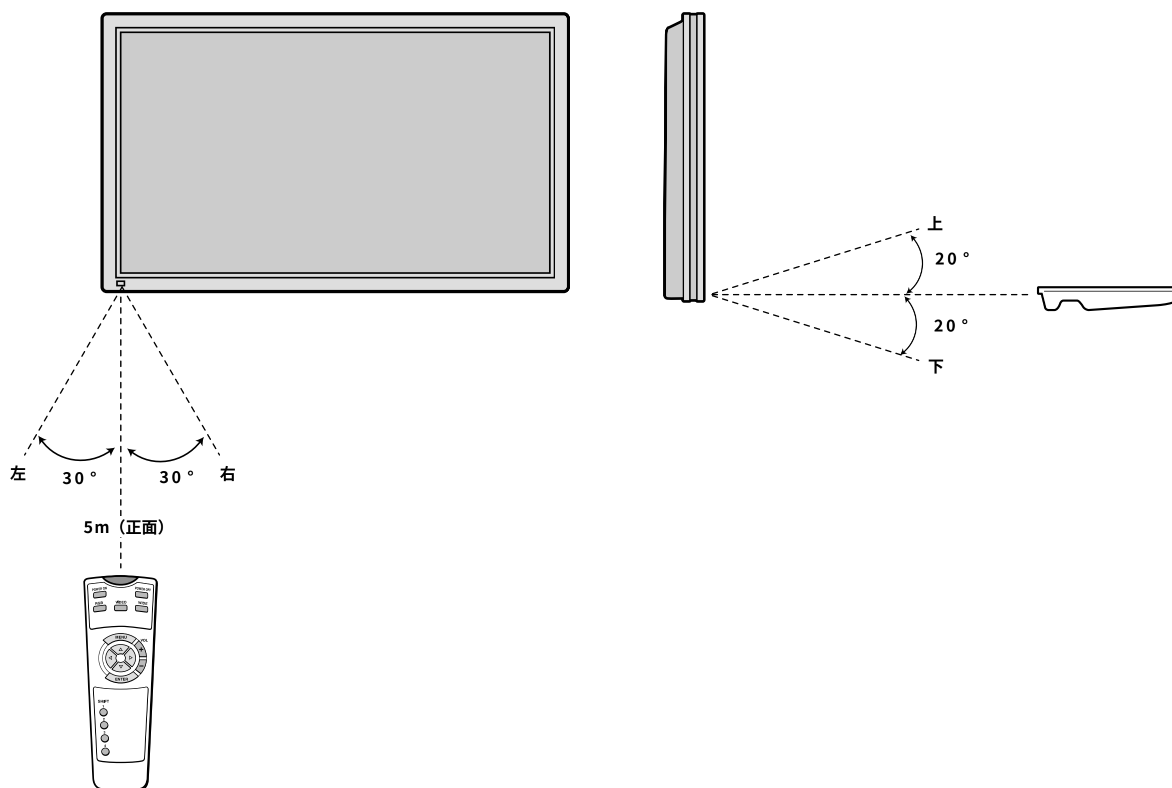
リモコンに強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

リモコンを水にぬらしたり、温度の高い所やストーブなどの熱器具の近くには置かないでください。故障や変形の原因となることがあります。

リモコンをベンジン・シンナーなど揮発性の液体でふかないでください。

リモコンの受信範囲

リモコン受信部に向けて操作してください。
本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。



お知らせ 高周波蛍光灯などを使用していると、正しく動作しない場合があります。このようなときは、蛍光灯または、リモコンの操作位置を変えてください。

外部機器の接続

接続する前に、本機および、接続機器の電源を必ず「切」にしてください。
外部機器との接続ケーブルは付属していません。パソコンの機種等により使用する接続ケーブルが異なりますので、販売店にご相談し、お買い求めください。

電源の接続

必ずアースを接地してください。
本機の電源プラグは、アース付き 3 芯プラグです。コンセントが 2 芯専用の場合は、アース工事が必要です。
販売店にご相談ください。

外部機器の接続

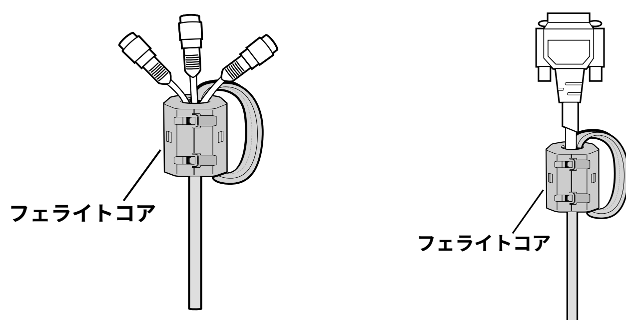
端子の位置、種類を確認して、正しく接続してください。
コネクターおよび端子がゆるんでいると、画像が乱れたり、色などが正常に表示されない場合がありますので、しっかり確実に接続してください。

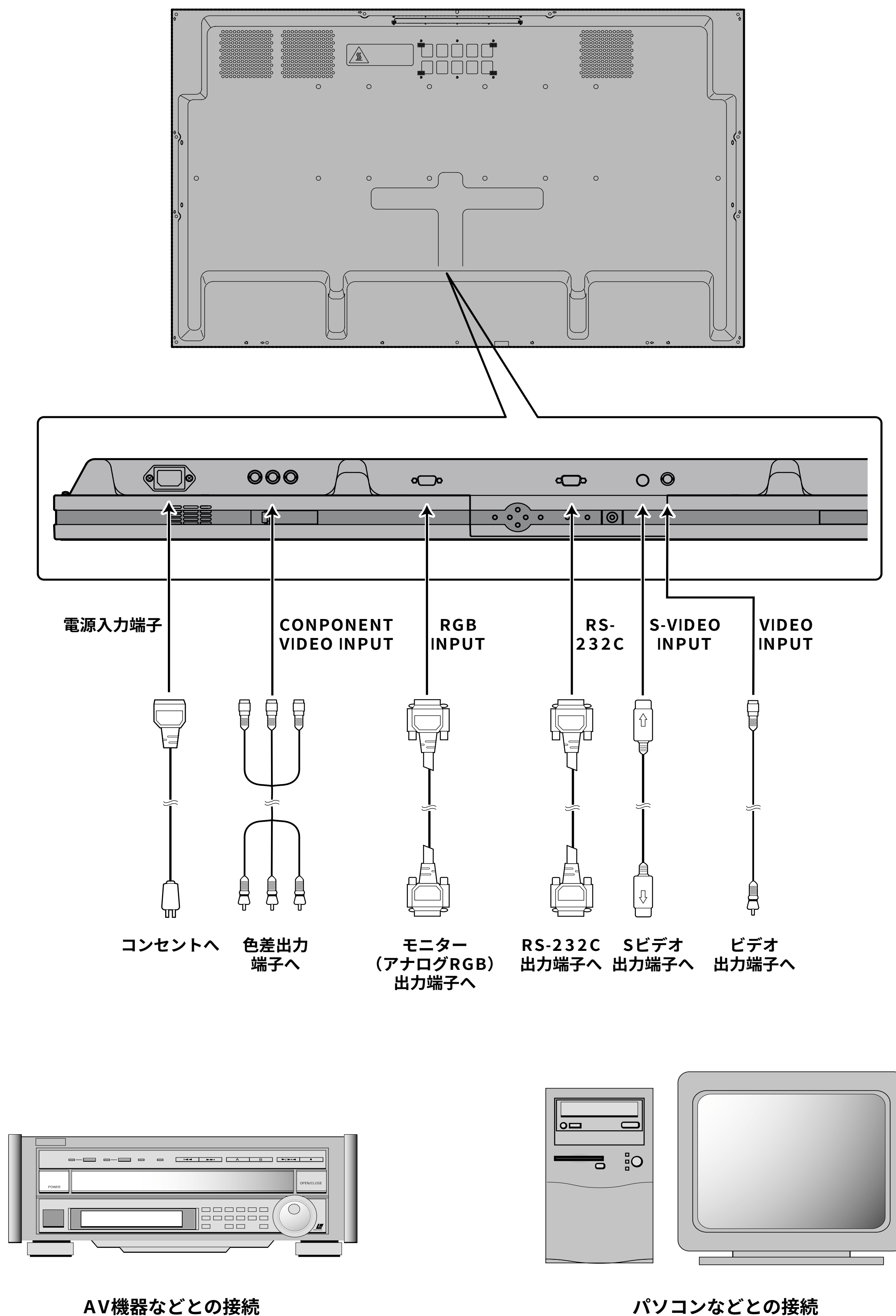
端 子 名	接続コネクター	端 子 名	接続コネクター
VIDEO INPUT	BNC	RGB INPUT	mD-sub 15ピン BNC×5
S-VIDEO INPUT	S端子	AUDIO INPUT	ピンジャック
COMPONENT VIDEO INPUT	BNC×3	RS-232C	D-sub 9 ピン

フェライトコア

フェライトコアは不要電波を軽減するために使用します。

●フェライトコア…2 個
コンポーネントビデオ入力端子、RS-232C 端子にケーブルを接続するときは、端子近くに下図のように取り付けてください。

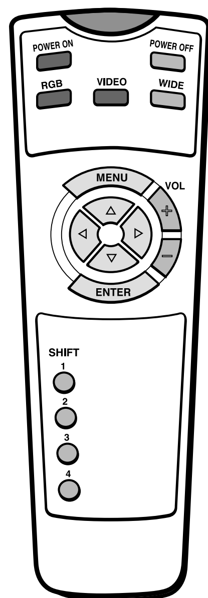




電源入力端子
CONPONENT VIDEO INPUT
RGB INPUT
RS-232C
S-VIDEO INPUT
VIDEO INPUT
コンセントへ
色差出力端子へ
モニター（アナログRGB）出力端子へ
RS-232C出力端子へ
Sビデオ出力端子へ
ビデオ出力端子へ
AV機器などとの接続
パソコンなどとの接続

基本操作

電源を「入」にする



※本機操作部のボタンでも
調整・設定ができます。

1 POWER ON を押す

電源ランプが「赤色」から「緑色」に変わります。

2 RGB または VIDEO を押す

入力する映像モードを選択します。

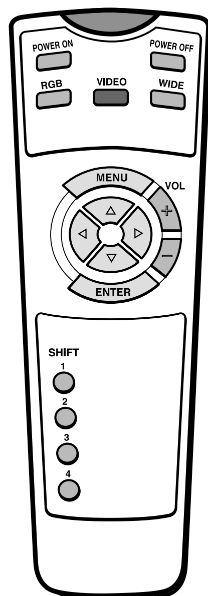
電源を「切」にする

電源が「入」のときに POWER OFF を押す

電源ランプが「緑色」から「赤色」に変わります。

入力モードを選択する

ビデオ入力モード



※本機操作部のボタンでも
調整・設定ができます。

1 VIDEO を押して入力モードを選択する

押すごとに下図のようにモードが切り換わります。

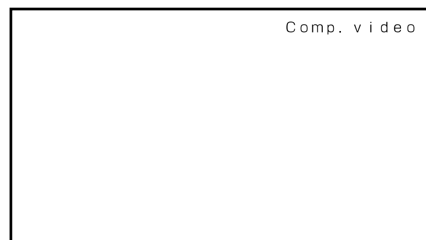
→Video→S-video→Comp. video

Video	ビデオ端子に接続されている機器からの映像をご覧になれます。
S-video	S ビデオ端子に接続されている機器からの映像をご覧になれます。
Comp. video	コンポーネントビデオ入力端子に接続されている機器からの映像をご覧になれます。

※ RGB 入力モード中でも切り換えられます。

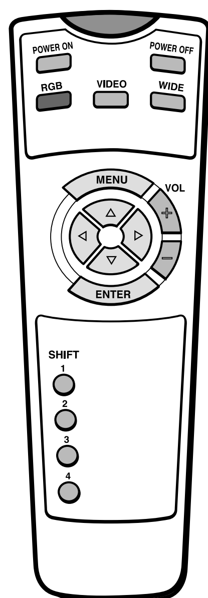


S-video モード



Comp. video モード

RGB 入力モード



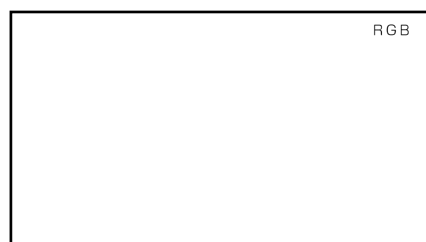
※本機操作部のボタンでも
調整・設定ができます。

1 RGB を押して入力モードを選択する

押すと RGB モードに切り換わります。

RGB	RGB 端子（mD-sub）に接続されている機器からの映像をご覧になれます。

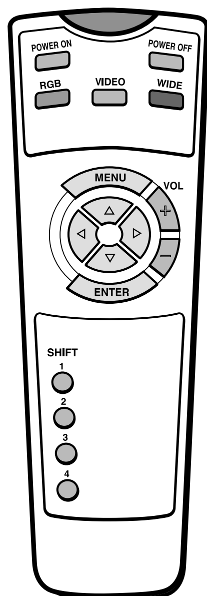
※ビデオ入力モード中でも切り換えられます。



RGB モード

ワイド画面で見る

画面サイズを切り換える



※本機操作部のボタンでも調整・設定ができます。

1 WIDE を押す

現在の画面モードが表示されます。

2 WIDE で画面モードを選択する

押すごとに下図のようにモードが切り換わります。

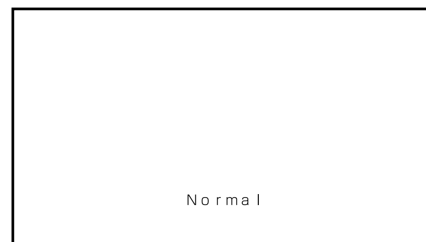
ビデオ、デコーダー入力モード

→Normal→Wide1→Wide2→Zoom2→Zoom1→（Normalへ戻る）

RGB-PC 入力モード

→Normal→Wide→Zoom→（Normalへ戻る）

※信号の種類によっては選択できないモードがあります。



Normal モードのとき



Wide1 モードを選択したとき

お知らせ ノーマルモードを長時間、連続して使用しますと画面が焼きつく場合がありますので、ご注意ください。

お 願 い 本機では、各種の画面モードを選択することができます。テレビ番組やビデオソフトなどの映像比率（画面の縦横比）と異なるモードを選択した場合、オリジナルの映像と見え方が違います。このことをご留意のうえで、画面モードを選択してください。

本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的としてイベント会場、飲食店などでご利用になる場合、オリジナルの映像比率と異なる画面モードで放映すると、著作権法で保護されている映像の著作権を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

制作者の意図を尊重するためには、オリジナルの映像比率と同じモードでご覧ください。

参　　照 画面のサイズ、位置を調整する方法は、28 ～ 29 ページを参照してください。

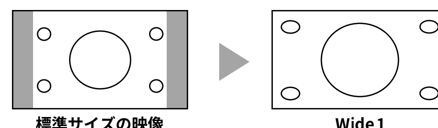
画面サイズ

Normal

標準サイズ（横 4：縦 3 の比率）の映像をご覧になることができます。

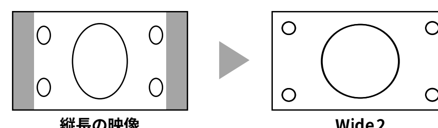
Wide1

標準サイズの映像を、違和感の少ないワイド画面としてご覧になれます。



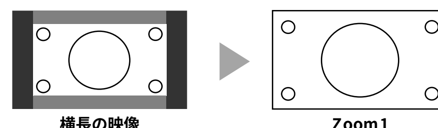
Wide2 ／ Wide

16：9の映像を4：3に圧縮した縦長の映像（スクイーズ映像やハイビジョン放送の録画）をご覧になる場合に最適です。



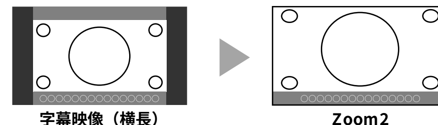
Zoom1 ／ Zoom

横長の映像を、縦横の比率を保ったまま均等に拡大して、ご覧になれます。



Zoom2

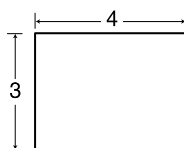
字幕付きの横長映像をご覧になるときに、字幕が欠けない程度に垂直方向を縮小します。
（映像によっては字幕が見えにくい場合もあります。）



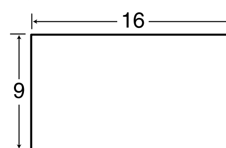
映像比率(アスペクト)とは

映像比率（画面の縦横比）には次の種類があります。

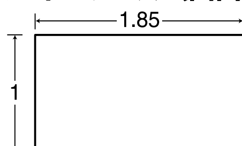
VHF/UHF 放送,BS 放送（画面比率 4：3）



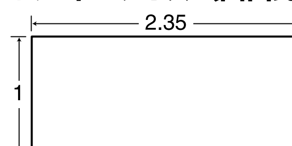
ハイビジョン放送,ワイドクリアビジョン（画面比率 16：9）



ビスタビジョンサイズ（画面比率 1.85：1）



シネマビジョンサイズ（画面比率 2.35：1）



お知らせ 映像ソフトによく見られるビスタビジョンサイズソフトやシネマビジョンサイズソフトをZoomに設定しても、画面の上下に黒い部分が残る場合があります。

メニューの使い方

メニュー項目を選択する

設定・調整する入力モードを本体 MODE ボタンまたはリモコン VIDEO RGB を押して、切り換えます。

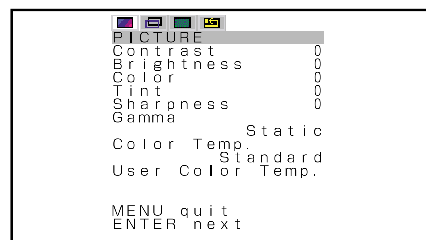
1 MENU を押す

メインメニュー画面が表示されます。

2 ◀ ▶ を押してメニュー項目を選択する

押すごとに表示が切り換わり、各メニューが表示されます。

3 ▲ ▼ を押して調整・設定する項目を選択します。



例：PICTURE メニュー画面

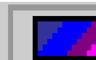
各メニューはイラストでわかりやすく区別されています。

PICTURE 、POSITION/SIZE 、FEATURES 、FACTORY DEFAULT

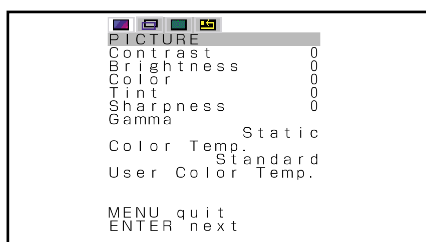
※▲ ▼ ◀ ▶ を調整・設定し、ENTER を押すことにより記憶します。

※メニュー表示をしているときは、入力信号を変えないでください。

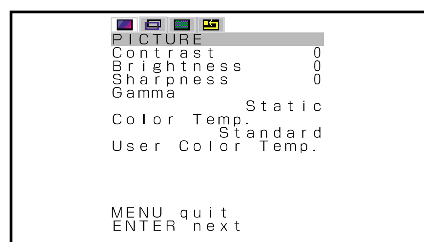
PICTURE メニューの使い方



それぞれの項目を選択して、ENTER を押すと、その項目の調整・設定画面が表示されます。
その画面で ◀ ▶ を押して、内容を調整・設定できます。（26 ～ 27 ページ参照）
ENTER を押すことにより記憶します。
調整した内容は各モードごとに記憶されます。

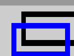


PICTURE メニュー画面（VIDEO 入力モード）



PICTURE メニュー画面（RGB 入力モード）

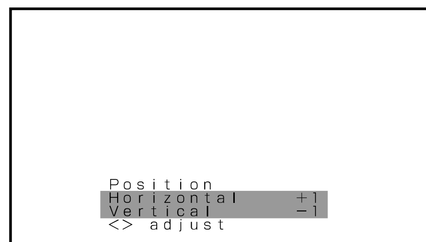
項目	機能	操作	調整範囲
(1)Contrast	画像の濃淡を調整	▶：コントラストが強くなる ◀：コントラストが弱くなる	−30〜+30
(2)Brightness	画面の明るさを調整	▶：画面が明るくなる ◀：画面が暗くなる	−60〜+60
(3)Color （Video、S-video、Comp. videoのみ）	色の濃さを調整	▶：色が濃くなる ◀：色が薄くなる	−60〜+60
(4)Tint （Video、S-video、Comp. videoのみ）	色合いを調整	▶：緑がかった色になる ◀：紫がかった色になる	−30〜+30（Video、S-video） −60〜+60（Comp.video）
(5)Sharpness	画質を調整	▶：くっきりした画像になる ◀：やわらかい画像になる	−16〜+16（Video、S-video、Comp.video、Decoder） −4〜+4（RGB-PC）
(6)Gamma	ガンマ補正	◀▶を押すごとに切り換わる	Dynamic1/Dynamic2/Dynamic3 （Video、S-video、Comp.video） Dynamic1/Dynamic2/Dynamic3/Static（RGB）
(7)Color Temp.	色温度の設定	◀▶を押すごとに切り換わる	Warm/Standard/Cool/User
(8)User Color Temp.	色温度のマニュアル設定 Color Temp.がUserのとき設定が可能	▲▼でRed,Green,Blueを選択する ◀▶を押すごとに切り換わる	Red,Green,Blueともに0〜255

POSITION/SIZE メニューの使い方 

それぞれの項目を選択して、「ENTER」を押すと、その項目の調整画面が表示されます。
▲▼で項目を選択して、◀ ▶ で調整します。（28 〜 29 ページ参照）
「ENTER」を押すことにより記憶します。
調整した内容は各モードごとに記憶されます。



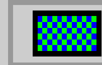
POSITION ／ SIZE メニュー画面



調整中の画面

項目	機能	操作	調整範囲
(1)Position	画面の位置を調整		Video、S-video Horizontal−30〜+30 Vertical Zoom:−15〜+15 その他:−7〜+7 Comp. video −16〜+16 1080I,720Pのとき −30〜+30 RGB −150〜+150
Horizontal	水平位置を調整	▶：画面位置が右に移動する ◀：画面位置が左に移動する	
Vertical	垂直位置を調整	▶：画面位置が上に移動する ◀：画面位置が下に移動する	
(2)Size	画面のサイズを調整		Video、S-video −7〜+7 Comp. video −4〜+4 RGB −25〜+50
Width	水平幅を調整	▶：水平幅が大きくなる ◀：水平幅が小さくなる	
Height	垂直幅を調整	▶：垂直幅が大きくなる ◀：垂直幅が小さくなる	

FEATURES メニューの使い方



●FEATURES 設定画面は Adjustment, Function, On Screen Menu, Input Terminal, Others の 5 種類に区別されています。

●項目の後に ┓ が表示されている場合

それぞれの項目を選択して、ENTER を押すと、その項目の調整・設定画面が表示されます。

その画面で◀ ▶を押して、内容を調整・設定できます。（30 ～ 37 ページ参照）

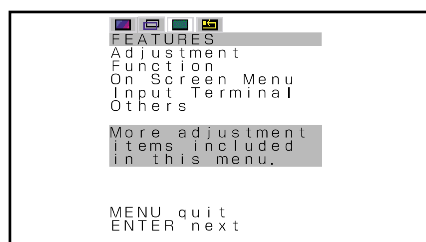
ENTER を押すことにより記憶します。

●項目の後に ┓ が表示されていない場合

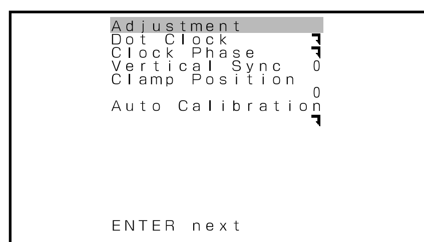
それぞれの項目を選択して、◀ ▶を押すと、その項目の調整・設定ができます。（30 ～ 37 ページ参照）

ENTER を押すことにより記憶します。

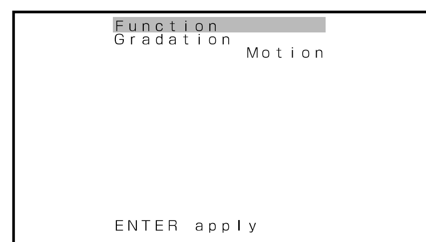
FEATURESメニュー



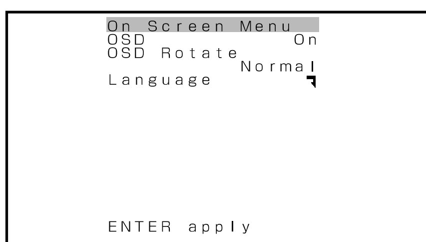
FEATURES メニュー画面（RGB 入力モード）



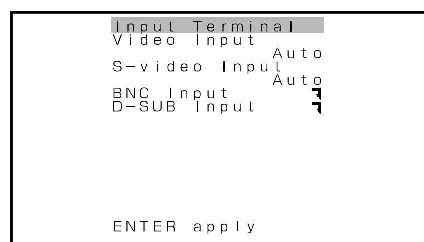
Adjustment メニュー画面



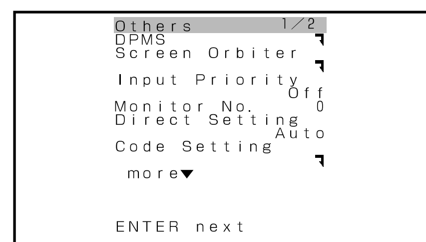
Function メニュー画面



On Screen Menu 画面（RGB 入力モード）



Input Terminal メニュー画面



Other（1/2）メニュー画面

Adjustment メニュー →30～32ページ

項目	機能	操作	調整範囲
(1)Dot Clock (RGBのみ)	ドットクロックを調整	◀▶ で最適な値を選択すると画面のぼやけが解消される。	−60～+60
(2)Clock Phase (RGBのみ)	クロック位相を調整	◀▶ で最適な値を選択すると画面のぼやけが解消される。	Auto/Manual Manualのとき1～32で調整可能
(3)Vertical Sync (RGBのみ)	垂直同期信号を補正	◀▶ で最適な値を選択すると画面のゆれが解消される	−1～+1
(4)Clamp Position (Comp.video,RGBのみ)	クランプパルスの位相を設定	◀▶ を押すごとに切り換わる	−8～+8
(5)Auto Calibration (RGBのみ)	映像のダイナミックレンジを最適にします	Auto Calibrationの画面を表示し、Executeを選択し、Yesを選んで ENTER を押すとオートキャリブレーションを実行する	Execute（実行） Yes（実行する）／ No（実行取消）

Function メニュー →30・32ページ

項目	機能	操作	調整範囲
(1)Gradation (RGBのみ)	階調補正	◀▶ を押すごとに切り換わる	Motion（動画）／ Still（静止画）

On Screen Menu →30・32〜33ページ

項目	機能	操作	調整範囲
(1)OSD	メニュー以外の画面表示の表示・非表示を選択	◀▶ を押すごとに切り換わる	On（表示） Off（非表示）
(2)OSD Rotate	表示文字を回転	◀▶ を押すごとに切り換わる	-90 Deg（反時計回り）/ Normal/-90 Deg(時計回り)
(3)Language	メニューの表示言語を変更	Language画面を表示し ▲▼ を押して選択する ENTER を押すと表示言語が切り換わる	English（英語） Deutsch（ドイツ語） Español（スペイン語） Français（フランス語） Italiano（イタリア語） Português（ポルトガル語）

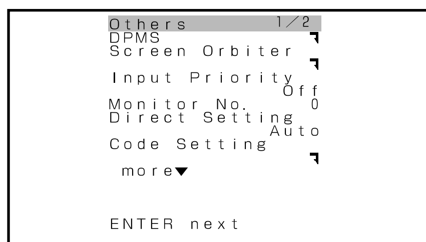
Input Terminal メニュー →30・33〜34ページ

項目	機能	操作	調整範囲
(1)Video Input (Videoのみ)	ビデオ方式を選択	◀▶ を押すごとに切り換わる	Auto/NTSC/PAL/SECAM /PAL60/4.43NTSC
(2)S-video Input (S-videoのみ)	ビデオ方式を選択	◀▶ を押すごとに切り換わる	Auto/NTSC/PAL/SECAM /PAL60/4.43NTSC
(3)BNC Input	BNC Input（コンポーネントビデオ入力端子）のマスクの設定が可能	◀▶ を押すごとに切り換わる	Mask（ふちどり） Off/5/10/15（ドット）
(4)D-SUB Input	D-SUBの入力信号を選択する	D-SUB Input画面を表示し ▲▼ を押して項目を選択する ◀▶ を押すごとに切り換わる Functionで設定することによりMaskの設定が可能	Function RGB-PC/Decoder Mask（ふちどり） Off/5/10/15（ドット）

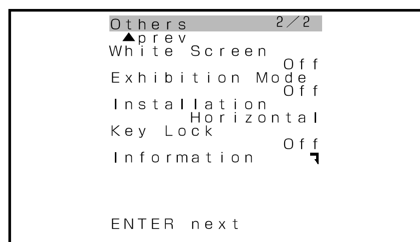
メニューの使い方（つづき）

Others Menu →30・34～37ページ

●Others Menu 画面は以下の 2 つに区別されています。



OTHERS（1/2）メニュー画面



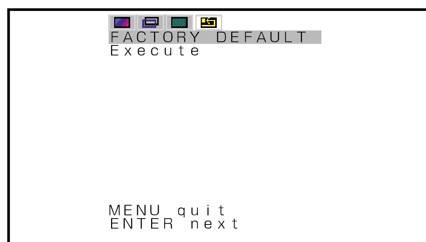
OTHERS（2/2）メニュー画面

項目	機能	操作	調整範囲
(1)DPMS	節電機能の待機時間を設定 設定したときにはバックグラウンドの色指定が可能	DPMS画面を表示し ▲▼ を押して項目を選択する ◀▶ を押すごとに切り換わる TimeでOff以外を設定することにより Backgroundの設定が可能となる	Time Off(機能不使用) / 1/15/45/60（単位：分） Background Black / White
(2)Screen Orbiter (RGBのみ)	画面保護機能を設定	Screen Orbiter画面を表示し ▲▼ を押して項目を選択する ◀▶ を押すごとに切り換わる	Mode / Time Off（機能不使用）/ Time（1時間経過ごと）/ Mode（入力モード切換時ごと） Moving area Min.（わずかな移動）/ Std.（中程度の移動）/ Max.（広範囲の移動）
(3)Input Priority	最優先モードを設定	◀▶ を押すごとに切り換わる	Off/RGB/Video/ S-video/Comp. video
(4)Monitor No.	モニターナンバーの設定	◀▶ を押すごとに切り換わる	0（設定なし）/ 1/2/3/4
(5)Direct Setting (RGBのみ)	入力信号に対する設定	◀▶ を押すごとに切り換わる	Auto/VGA/WVGA/ 480P/XGA
(6)Code Setting (RGBのみ)	入力信号の種類を直接、指定して表示	Code Setting画面を表示し ▲▼ を押して項目を選択する Manualを選択するとパラメーターの設定が可能	Auto / Manual
(7)White Screen	全画面白表示を設定	◀▶ を押すごとに切り換わる	On / Off（機能不使用）
(8)Exhibitation Mode	展示モードの設定	◀▶ を押すごとに切り換わる	On（展示モード）/ Off（機能不使用）
(9)Installation	横置き、縦置きの設定	◀▶ を押すごとに切り換わる	Horizontal（横置き）/ Vertical（縦置き）
(10)Key Lock	本体ボタンをロックする機能	◀▶ を押すごとに切り換わる	On（ロックする）/ Off（ロックしない）
(11)Information	システム動作状態を表示		表示のみ

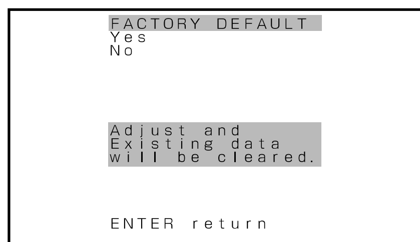
FACTORY DEFAULT メニューの使い方



●FACTORY DEFAULT を選択して実行すると、MENU 中で調整・設定したものを工場出荷状態に戻します。
（38 ページ参照）



FACTORY DEFAULT メニュー画面



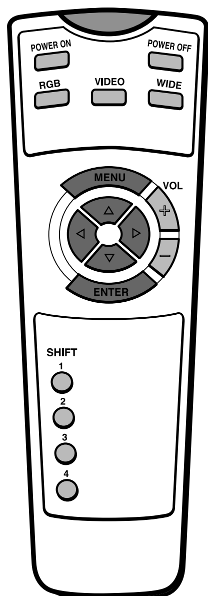
確認メッセージ表示

項目	機能	操作	調整範囲
FACTORY DEFAULT	MENU中で調整・設定したものを工場出荷状態に戻します。	Executeを選択し、Yesを選んで ENTER を押すと工場出荷状態に戻ります。	Yes（実行）/ No（実行取消）

映像を調整する（PICTURE）

基本手順［例：色合い（Tint）を調整する］

映像に関する項目はすべて PICTURE メニュー画面から調整・設定できます。
調整・設定する入力モードを選びます。（調整・設定する内容は各入力モードごとに記憶します）



※本機操作部のボタンでも
調整・設定ができます。

メニュー表示

1 MENU **を押す**

メインメニュー画面が表示されます。

2 ◀ ▶ **を押して、PICTURE を選択する**

押すごとに、表示が切り換わります。

PICTURE↔POSITION/SIZE↔FEATURES↔FACTORY DEFAULT

PICTUREメニュー画面が表示されます。



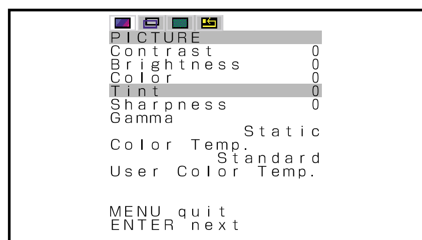
PICTURE を選択した画面（VIDEO 入力モード）

項目選択

3 ▲ ▼ **を押して、Tint を選択する**

4 ENTER **を押す**

調整画面が表示されます。



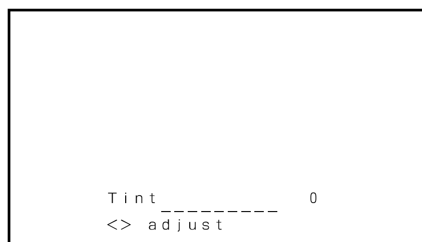
Tint を選択した画面（VIDEO 入力モード）

項目調整

5 ◀ ▶ **を押して、Tint を調整する**

▶を押す…緑がかった色になります。
◀を押す…紫がかった色になります。

6 ENTER **を押して記憶します**

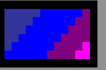


Tint 調整画面

終了

MENU を押して、終了する

＊他の項目も調整する場合は、3 ～ 6 の操作を繰り返します。



コントラスト(画像の濃淡)を調整する(Contrast) 🅅 🅂 🄲 🅁 🄳

－30から+30の範囲で調整できます。

▶を押す：コントラストが強くなります。

◀を押す：コントラストが弱くなります。

ENTERを押して記憶します。

明るさを調整する(Brightness) 🅅 🅂 🄲 🅁 🄳

－60から+60の範囲で調整できます。

▶を押す：画像が明るくなります。

◀を押す：画像が暗くなります。

ENTERを押して記憶します。

色の濃さを調整する(Color) 🅅 🅂 🄲

－60から+60の範囲で調整できます。

▶を押す：色が濃くなります。

◀を押す：色が薄くなります。

ENTERを押して記憶します。

色合いを調整する(Tint) 🅅 🅂 🄲

－30から+30（🅅 🅂）、－60から+60（🄲）の範囲で調整できます。

▶を押す：緑がかった色になります。

◀を押す：紫がかった色になります。

ENTERを押して記憶します。

画質を調整する(Sharpness) 🅅 🅂 🄲 🅁 🄳

－16から+16（🅅 🅂 🄲 🄳)、－4から+4（🅁）の範囲で調整できます。

▶を押す：くっきりした画像になります。

◀を押す：やわらかい画像になります。

ENTERを押して記憶します。

ガンマ補正をする(Gamma) 🅅 🅂 🄲 🅁 🄳

動画または静止画に適したダイナミックガンマ補正の設定ができます。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

→Dynamic1↔Dynamic2↔Dynamic3↔Static←

Dynamic1,2,3：動画をご覧になるときに適しています。
（画質の良い方をお使いください）

Static：静止画をご覧になるときに適しています。

ENTERを押して記憶します。

※Static はRGBモードのみ選択できます。

色温度を設定する(Color Temp.) 🅅 🅂 🄲 🅁 🄳

◀ ▶ で色温度の設定ができます。押すごとに切り換わります。

→Warm↔Standard↔Cool↔User←

Warm　：赤みがかった色になります。
Standard：標準
Cool　：青みがかった色になります。
User　：User設定になります。

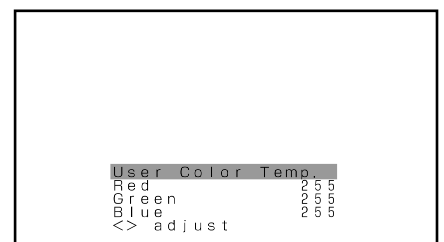
色温度のユーザー設定(User Color Temp.) 🅅 🅂 🄲 🅁 🄳

▼ ▲ を押してRed,Green,Blueを選択できます。

◀ ▶ を押して0～255の範囲で調整することができます。

※色温度の設定がUserに切り換わります。

※User Color Temp.の初期値は工場で個別に調整されたものです。



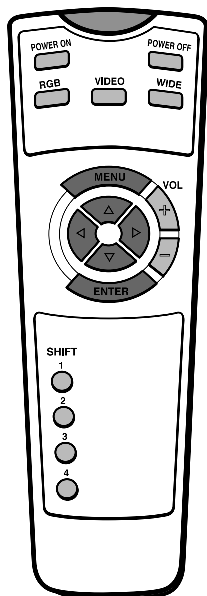
User Color Temp.の設定画面

※約60秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。
※本文中の以下の略語は、その項目を調整可能な入力モードを示しています。
🅅：Videoモード、🅂：S-videoモード、🄲：Comp. videoモード、🅁：RGB-PCモード、🄳：Decoderモード

画面位置・サイズを調整する(POSITION/SIZE)

基本手順［例：画面位置の水平方向を調整する］

画面位置に関する項目はすべて POSITION/SIZE メニュー画面から調整・設定できます。
調整・設定する内容は各入力モードごとに記憶しますので、調整・設定する入力モードを選択してから以下の操作を行ってください。

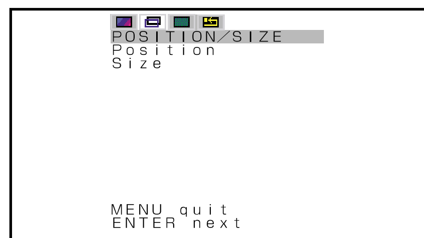


※本機操作部のボタンでも調整・設定ができます。

メニュー表示

1 MENU を押す

メインメニュー画面が表示されます。



POSITION/SIZE を選択した画面

2 ◀ ▶ を押して、POSITION/SIZE を選択する

押すごとに、表示が切り換わります。

PICTURE↔POSITION/SIZE↔FEATURES↔FACTORY DEFAULT

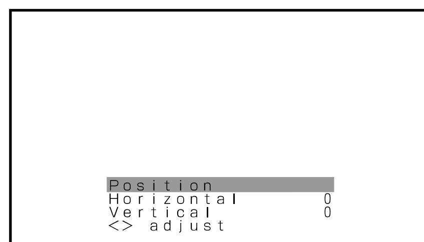
POSITION/SIZE メニュー画面が表示されます。

項目選択

3 ▲ ▼ を押して、Position を選択する

4 ENTER を押す

Position 調整画面が表示されます。



Position を選択した画面

5 ▲ ▼ を押して、Horizontal を選択する

6 ENTER を押す

Horizontal 調整画面が表示されます。

項目調整

7 ◀ ▶ を押して、画面位置の水平方向を調整する

▶ を押す…画面位置が右に移動します。

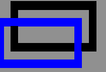
◀ を押す…画面位置が左に移動します。

8 ENTER を押して記憶します。

終了

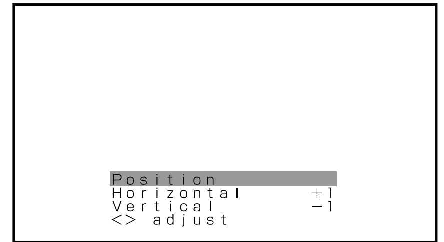
MENU を押して、終了する

＊他の項目も調整する場合は、3 ～ 8 の操作を繰り返します。



画面位置を調整する(Position)

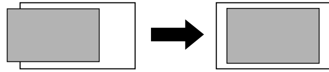
V S C R D



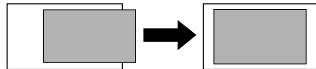
Position 調整画面

水平位置(Horizontal)

を押す：画面位置が右に移動します。

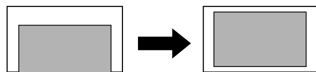


を押す：画面位置が左に移動します。

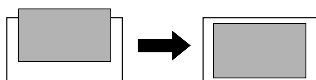


垂直位置(Vertical)

を押す：画面位置が上に移動します。



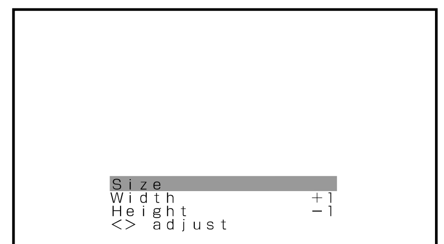
を押す：画面位置が下に移動します。



ENTER を押して記憶します。

画面サイズを調整する(Size)

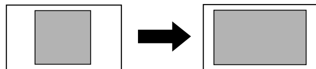
V S C R D



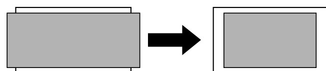
Size 調整画面

水平幅(Width)

を押す：画面の水平幅が大きくなります。

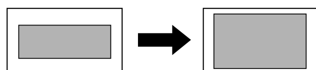


を押す：画面の水平幅が小さくなります。

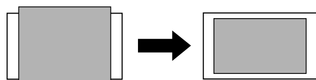


垂直幅(Height)

を押す：画面の垂直幅が大きくなります。



を押す：画面の垂直幅が小さくなります。



ENTER を押して記憶します。

調整値

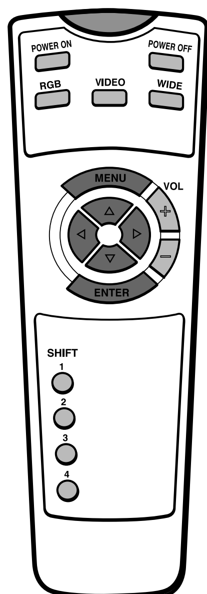
	Video、S-videoモード時	Comp. videoモード時	RGBモード時
Position	Horizontal −30〜+30 Vertical Zoomのとき −15〜+15 その他のとき −7〜+7	−16〜+16 1080I,720Pのとき −32〜+32	−150〜+150
Size	−7〜+7	−4〜+4	−25〜+50

※約 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。
※本文中の以下の略語は、その項目を調整可能な入力モードを示しています。
V: Video モード、S: S-video モード、C: Comp. video モード、R: RGB-PC モード、D: Decoder モード

その他の設定（FEATURES）

基本手順［例：表示言語（Language）を切り換える］

その他の調整・設定についてはすべて FEATURES メニュー画面から行ないます。



※本機操作部のボタンでも
調整・設定ができます。

メニュー表示

1 MENU を押す

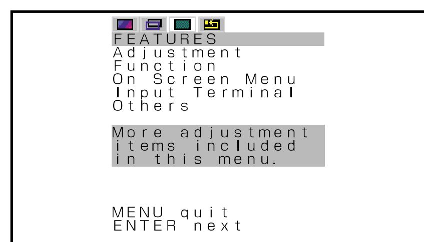
メインメニュー画面が表示されます。

2 ◀ ▶ を押して、
FEATURES を選択する

押すごとに、表示が切り換わります。

PICTURE↔POSITION/SIZE↔FEATURES↔FACTORY DEFAULT

FEATURESメニュー画面が表示されます。



FEATURES を選択した画面

項目選択

3 ▲ ▼ を押して、

On Screen Menuを選択する

調整・設定する項目により下記の項目から選択します。

- Adjustment
- Function
- On Screen Menu
- Input Terminal
- Others



On Screen Menu を選択した画面

4 ENTER を押す

On Screen Menu が表示されます。

5 ▲ ▼ を押して、

Language を選択する

6 ENTER を押す

Language 設定画面が表示されます。



Language 調整画面

項目調整

7 ▲ ▼ を押して、
言語を選択する

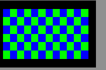
8 ENTER を押す

選択した言語でメニューが表示されます。

終了

MENU を押して、終了する

＊他の項目も調整する場合は、3 ～ 8 の操作を繰り返します。



FEATURES 設定画面は下記の 5 つの項目に区別されています。

- **Adjustment**　: Dot Clock や Clamp Position など映像の微調整ができます。→31ページ
- **Function**　: Gradation など機能設定ができます。→32ページ
- **On Screen Menu** : OSD や Language など表示設定ができます。→32～33ページ
- **Input Terminal** : Video Input など入力端子の設定ができます。→33～34ページ
- **Other**　: その他の設定ができます。→34～37ページ

Adjustment

ドットクロックを調整する(Dot Clock) [R]

パソコンのクロック周波数の違いによって、画像がぼやけることがあります。そのときには、Dot Clock を調整します。

◀ ▶ でー 60 から +60 の範囲で調整できます。

ENTER を押して記憶します。

クロック位相を調整する(Clock Phase) [R]

パソコンのクロック位相の違いによって、画像がぼやけることがあります。そのときには、Clock Phase を manual にして調整します。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

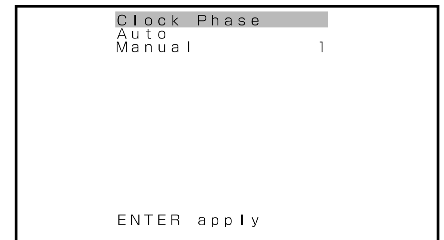
Auto ↔ Manual

Auto　: 自動調整します。

Manual : 自動調整しません。

◀ ▶ で 1 から 32 の範囲で調整できます。

ENTER を押して記憶します。



Clock Phase で Manual を選択した画面

画面のゆれを補正する(Vertical Sync) [R]

垂直方向に画面がゆれるときに、垂直同期信号のタイミングを補正します。

◀ ▶ を押してー 1 ～ +1 の範囲で調整します。

ENTER を押して記憶します。

クランプポジションを設定する(Clamp Position) [C] [R]

接続した機器からの入力信号に応じて、クランプポジションを調整します。通常は自動で最適値に設定されます。

◀ ▶ を押して、ー 8 ～ +8 の範囲で調整します。

ENTER を押して記憶します。

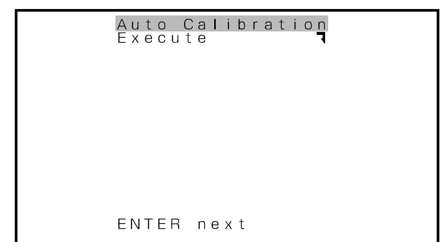
ダイナミックレンジを最適にする(Auto Caliblation) [R]

全白信号を入力し、映像のダイナミックレンジを最適に調整します。

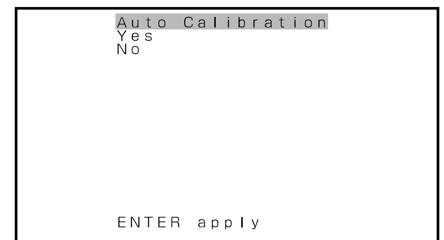
① Auto Caliblation を選択して、ENTER を押す。
　Auto Caliblation 画面が表示されます。

② Execute を選択し、ENTER を押し実行する。
　▼ ▲ で Yes,No を選択する。
　　Yes : オートキャリブレーションのデータを記憶します。
　　No : オートキャリブレーションの実行結果を無効にします。

③ ENTER を押して実行します。



Auto Caliblation 設定画面



Yes を選択した画面

※約 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。
※本文中の以下の略語は、その項目を調整可能な入力モードを示しています。
[V]: Video モード、[S]: S-video モード、[C]: Comp. video モード、[R]: RGB-PC モード、[D]: Decoder モード

Function

階調を補正する（Gradation） Ⓡ

動画または静止画に適した階調の設定ができます。

◀▶ を押すごとに切り換わります。

Motion ↔ Still

Motion：動画をご覧になるときに適しています。

Still　：静止画をご覧になるときに適しています。

ENTER を押して記憶します。

On Screen Menu

画面表示を設定する（OSD） 共通設定

OSDでは、メニュー以外の画面表示について表示する、しない、を選択できます。（エラーメッセージは表示されます）

◀▶ を押すごとに切り換わります。

On ↔ Off

On：すべての項目が画面表示されます。

Off：メニュー、エラーメッセージ以外は画面表示されません。
電源をオフにすると解除されます。

ENTER を押して記憶します。

表示文字を回転させる（OSD Rotate） 共通設定

画面の表示文字を回転させます。

◀▶ を押すごとに切り換わります。

→－90 Deg↔Normal↔＋90 Deg←

－90 Deg：電源ランプが上になるように設置されているときに、文字が水平に表示されます。

Normal　：通常

＋90 Deg：電源ランプが下になるように設置されているときに、文字が水平に表示されます。

ENTER を押して記憶します。

表示言語を選択する（Language） 共通設定

Language では、画面に表示する言語を変更することができます。

① Language を選択して、ENTER を押す
Language 画面が表示されます。

② ▼ ▲ を押して言語を選択する

English：英語

Deutsch：ドイツ語

Español：スペイン語

Française：フランス語

Italiano：イタリア語

Português：ポルトガル語

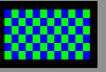
③ ENTER を押す

選択した言語でメニューが表示されます。



Language 選択画面

※約60秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。
※本文中の以下の略語は、その項目を調整可能な入力モードを示しています。
Ⓥ：Video モード、Ⓢ：S-video モード、Ⓒ：Comp. video モード、Ⓡ：RGB-PC モード、Ⓓ：Decoder モード



Input Terminal

ビデオ方式を選択する（Video Input） 🅅

ビデオ入力端子に入力する映像のビデオ方式を選択できます。
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

→Auto↔NTSC↔PAL↔SECAM↔PAL60↔4.43NTSC←

Auto　　：ビデオ方式が自動的に選択されます。
ただしNTSC,PAL,SECAM以外の信号は自動的に切り換わりません。
Auto 以外：入力信号に合わせて設定してください。

ENTER を押して記憶します。

ビデオ方式を選択する（S-video Input） 🅂

S ビデオ入力端子に入力する映像のビデオ方式を選択できます。
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

→Auto↔NTSC↔PAL↔SECAM↔PAL60↔4.43NTSC←

Auto　　：ビデオ方式が自動的に選択されます。
ただしNTSC,PAL,SECAM以外の信号は自動的に切り換わりません。
Auto 以外：入力信号に合わせて設定してください。

ENTER を押して記憶します。

BNC入力にマスクの設定をする（BNC-Input） 共通設定

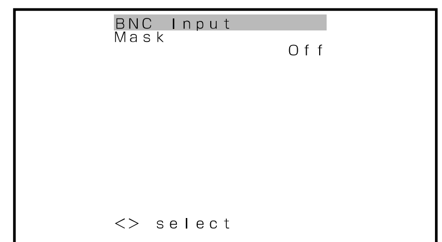
BNC 入力端子（コンポーネントビデオ入力端子）に入力する信号をマスクすることができます。
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

→Off↔ 5 ↔ 10 ↔ 15 ←

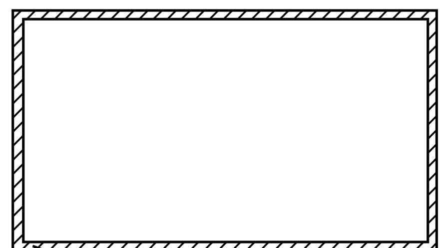
Off：マスクはしません。
数値：画面の外側（上下左右）をマスクするピクセル数を示します。

ENTER を押して記憶します。

※入力信号によっては、画面外周部に不要な表示が出る場合があります。
見苦しい場合にマスク設定を行ってください。



BNC-Input 選択画面



※約 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。
※本文中の以下の略語は、その項目を調整可能な入力モードを示しています。
🅅: Video モード、🅂: S-video モード、🄲: Comp. video モード、🅁: RGB-PC モード、🄳: Decoder モード

D-SUB入力端子を選択する（D-SUB Input）　共通設定

D-SUB 入力端子に入力する信号方式を選択できます。

① D-SUB Input を選択して、ENTERを押す。
D-SUB Input 画面が表示されます。

② 入力する信号方式を選択する。
◀▶ を押すごとに切り換わります。

RGB-PC ↔ Decoder

RGB-PC：パソコンで RGB を用いるときに使用します。
Decoder：デジタルチューナーを用いるときに使用します。

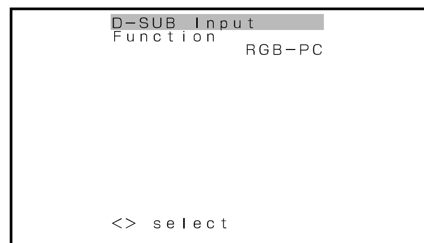
③ ▼▲を押して Function を選択する。

④ Function で Decoder を選択したときにはマスクの設定ができます。
◀▶ を押すごとに切り換わります。

→Off ↔ 5 ↔ 10 ↔ 15 ←

Off：マスクはしません。
数値：画面の外側（上下左右）をマスクするピクセル数を示します。

⑤ ENTERを押して記憶します。



D-SUB Input 選択画面

Others Menu

節電機能の待機時間を設定する（DPMS）　共通設定

節電機能が働くまでの待機時間を設定します。
DPMS とは Display Power Management Signaling の略称で、自動的に本機の消費電力を減少させる機能です。
電源が「入」のとき、設定した時間内に信号が入力されないと、節電機能が働いて自動的に画面が消え入力待機状態となり、電源ランプの表示が橙色に変わります。

① DPMS を選択して、ENTERを押す。
DPMS 画面が表示されます。

② ▼▲を押して Time を選択する

③ ◀▶ を押すごとに切り換わります。

→Off ↔ 1 min. ↔ 15 min. ↔ 45 min. ↔ 60 min. ←

Off：DPMS は機能しません。
数値：おおよその待機時間（単位：分）

※節電中は電源ランプが橙色で表示されます。
※信号が入力されると、待機状態は解除され、自動的に電源が「入」になります。

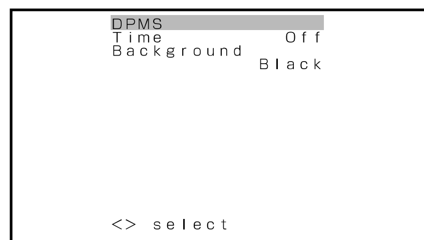
④ バックグラウンドの色の指定ができます。
▼▲を押して Background を選択する
◀▶ を押すごとに切り換わります。

Black ↔ White

Black：黒色の背景色で映像をミュートします。
White：白色の背景色で映像をミュートします。

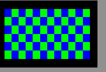
※信号がなくなってから、約 20 秒後に切り換わります。

⑤ ENTERを押して記憶します。



DPMS 選択画面

※約 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。
※本文中の以下の略語は、その項目を調整可能な入力モードを示しています。
🅅: Video モード、🅂: S-video モード、🄲: Comp. video モード、🅁: RGB-PC モード、🄳: Decoder モード



焼き付きを軽減させる(Screen Orbiter)

🅁 🄳

画面の位置を移動させて、画面の焼き付きを軽減させます。

① Screen Orbiterを選択して、ENTERを押す。
Screen Orbiter画面が表示されます。

② ▲▼を押してMode/Timeを選択する

③ 移動パターンを選択する
◀▶を押すごとに切り換わります。
→Off↔Time↔Mode←

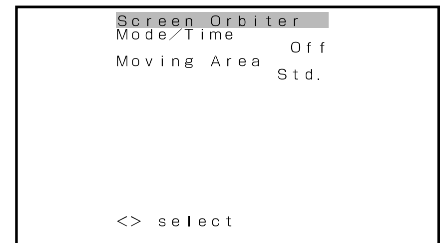
Off　：スクリーンオービターは機能しません。
Time：1時間ごとに移動します。
Mode：電源「入」または入力モードを切り換えたときに移動します。

④ ▲▼を押してMoving Areaを選択する

⑤ ◀▶を押して移動範囲を選択する
◀▶を押すごとに切り換わります。
→Min.↔ Std.↔ Max.←

Min.　：狭い範囲の移動（5ピクセル程度）
Std.　：中程度の範囲の移動（10ピクセル程度）
Max.：広い範囲の移動（15ピクセル程度）

⑥ ENTERを押して記憶します。



Screen Orbiter選択画面

画面保護機能の使用例

※画面保護機能は焼き付きを軽減する機能であって、なくすものではありません。

断続的に使用するとき	連続して使用するとき
DPMSで待機時間を設定する。 入力信号が途絶えると自動的に全白または全黒表示され、設定時間経過後に電源が「切」になります。	RGB入力モード、VIDEO入力モードを頻繁には切り換えない場合。 ① Screen OrbiterのMode/TimeでTimeを選択する。 ② Screen OrbiterのMoving Areaで移動量を選択する。 一定時間ごとに同じ範囲で移動します。 RGB入力モード、VIDEO入力モードを頻繁に切り換える場合。 ① Screen OrbiterのMode/TimeでModeを選択する。 ② Screen OrbiterのMoving Areaで移動量を選択する。 VideoからRGBにモードが切り換わったときに、位置が移動します。

最優先モード(Input Priority)

共通設定

指定モードの信号を最優先に表示させるために、その信号が入力されたときのみ、モードを自動的に切り換えます。

◀▶を押すごとに切り換わります。
→Off↔RGB↔Video↔S-video↔Comp. video←

Off：通常のモード切換
各入力モード：通常のモード切換を禁止し、選択したモードに信号が入力されたときのみ優先的に表示されます。

ENTERを押して記憶します。

※約60秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。
※本文中の以下の略語は、その項目を調整可能な入力モードを示しています。
🅅：Videoモード、🅂：S-videoモード、🄲：Comp. videoモード、🅁：RGB-PCモード、🄳：Decoderモード

モニターナンバーを設定する（Monitor No.） 共通設定

D-SUB入力端子に入力する信号方式を選択できます。
ディスプレイを複数設置したときに、モニターナンバーを設定して、1つのリモコンから個別に操作することができます。
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

→0↔1↔2↔3↔4←

0　：通常に操作できます。
SHIFTボタンを押すと、操作できません。
1～4：リモコンのSHIFT1～4を押しながら、それぞれのナンバー設定されているモニターを個別に操作することができます。
SHIFTボタンを押さなければ通常に操作できます。

ENTER を押して記憶します。
※Information表示でモニターナンバーを確認できます。（39ページ参照）

RGBの信号強制に設定する（Direct Setting） Ⓡ

RGBの入力信号に対する設定を切り換えることができます。
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

→Auto↔VGA↔WVGA↔480P↔XGA←

Auto　：入力信号を自動的に最適に表示します。
VGA　：VGAに最適な解像度設定に固定します。
WVGA：WVGAに最適な解像度設定に固定します。
480P　：480Pに最適な解像度設定に固定します。
XGA　：XGAに最適な解像度設定に固定します。

ENTER を押して記憶します。
※AutoモードではVGA,WVGA,480P,XGAの解像度は自動的に判別できない場合があります。画像が正しく表示されないときには固定表示に切り換えてください。

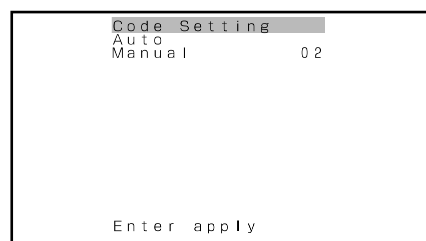
RGBの入力信号を選択する（Code Setting） Ⓡ

RGBの入力信号の種類を直接指定して表示することができます。
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

Auto ↔ Manual

Auto　：入力信号を自動的に最適に表示します。
Manual：RGBコードを選択します。

ENTER を押して記憶します。
※Autoモードでは信号の種類によっては自動的に最適な解像度の設定ができない場合があります。画像が正しく表示されないときには信号の種類を選択してください。ただし選択したときは、他の解像度の信号は正しく表示されませんので、ご注意ください。



Code Setting選択画面

全画面を白表示する（White Screen） 共通設定

画面の輝度を調整するために、全画面を白で表示し、焼き付けを軽減させます。
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

Off ↔ On
Off：全白表示は機能しません。
On：全白表示されます。

ENTER を押して記憶します。

※約60秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。
※本文中の以下の略語は、その項目を調整可能な入力モードを示しています。
Ⓥ: Videoモード、Ⓢ: S-videoモード、Ⓒ: Comp. videoモード、Ⓡ: RGB-PCモード、Ⓓ: Decoderモード

展示モードの設定（Exhibitation Mode）　　共通設定

展示デモ用にコントラストを高めた表示を行います。
不特定の人が使用する環境に最適です。
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

On ↔ Off
On：展示モードに設定します。
Off：通常モードに設定します。

ENTER を押して記憶します。
※ユーザー調整値を変更しても、およそ 5 分後に元の状態に戻ります。
コンセントを抜くと設定が解除されます。

縦・横の設置について（Installation）　　共通設定

設置する場合の横置き、縦置きについて、ファンの回転数を設定します。
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

Horizontal ↔ Vertical
Horizontal：横置きのときに設定します。
Vertical　：縦置きのときに設定します。

ENTER を押して記憶します。
※設置方向を変える場合は必ず本設定を行ってください。

本体ボタンのロックについて（Key Lock）　　共通設定

本体ボタンを無効にするときに設定します。
◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

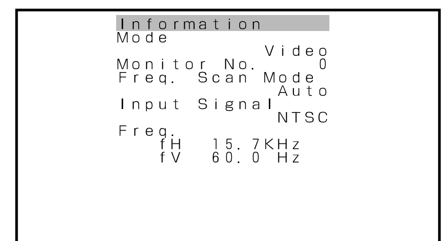
On ↔ Off
On：本体のボタンを無効にします。
Off：本体のボタンを有効にします。

ENTER を押して記憶します。

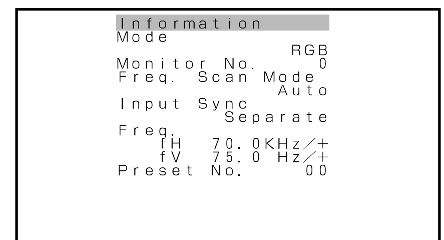
システム動作状態を表示する（Information）　　[V] [S] [C] [R] [D]

システム動作状態を確認することができます。
Information を選択して、ENTER を押す。
Information 画面が表示されます。

Mode：入力モードが表示されます。
Monitor No.：モニターナンバー
Freq.Scan Mode：周波数自動追跡
Input Signal：ビデオ方式
Input Sync：信号の種類
Freq.：周波数極性（fH、fV）
Preset No.：RGB コード番号（[R],[D]）



Information 表示画面（Video モード）



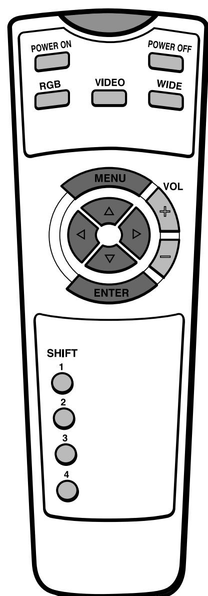
Information 表示画面（RGB モード）

※約 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。
※本文中の以下の略語は、その項目を調整可能な入力モードを示しています。
[V]: Video モード、[S]: S-video モード、[C]: Comp. video モード、[R]: RGB-PC モード、[D]: Decoder モード

ユーザー調整値の初期化 (FACTORY DEFAULT)

基本手順［例：調整・設定した値を工場出荷時の設定に戻す］

メニューなどで調整・設定した値を工場出荷時の設定に戻します。



※本機操作部のボタンでも調整・設定ができます。

メニュー表示

1 MENU を押す

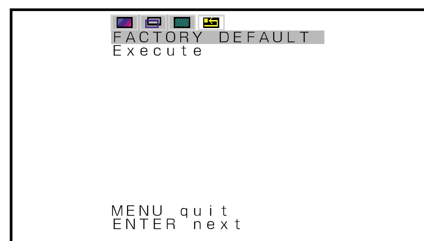
メインメニュー画面が表示されます。

2 ◀ ▶ を押して、FACTORY DEFAULT を選択する

押すごとに、表示が切り換わります。

PICTURE↔POSITION/SIZE↔FEATURES↔FACTORY DEFAULT

FACTORY DEFAULT画面が表示されます。



FACTORY DEFAULT を選択した画面

項目選択

3 ENTER を押す

初期化を行って良いか、のメッセージが表示されます。



メッセージを表示した画面

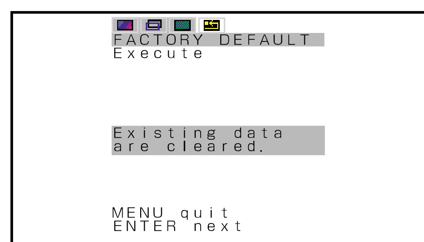
項目調整

4 ▲ ▼ を押して、Yes を選択する

5 ENTER を押す

初期化を行い

完了のメッセージを表示します。



初期化完了のメッセージを表示した画面

終了

MENU を押して、終了する

オプション品

壁掛けユニット（縦横兼用型）	**取付け角度　縦型 0 ～ 5°** **横型 0 ～ 15°**	**P-42WB12 形**
天吊りユニット	**取付け角度 0°～ 15°（可変）** **パイプは天吊りユニットに付属していませんので販売店にご相談ください**	**P-42CT11 形**
卓上スタンド		**P-42TT29 形**

※本機にオプション品を取り付けた場合は、オプション品の取扱説明書または取付説明書の設置仕様に従ってください。

※本機とオプション品の間には、若干の色の差があります。

⚠ 警告



据え付けるときや設置するときは、お買上げ窓口に依頼してください。
ご自分で据付け工事や移設工事をすると、落下・倒れによるケガや火災・感電の原因となります。

画面調整値

本機は、RGB それぞれ 4 種類の信号について保存することができます。保存したい信号を入力し、「画面位置・サイズを調整する」（28 ～ 29 ページ参照）の説明にしたがってお好みの画面に調整してください。調整が終了するとその調整値が自動的に保存されます。調整後、同じ信号が入力されると最後に保存された調整値で表示されます。

主な対応信号（RGB-PCモード）

表示(ドットライン)	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	対応信号
852×480	31.72	59.97	
640×480	31.47	59.94	VGA
640×480	37.86	72.81	VGA 72Hz
640×480	37.50	75.00	VGA 75Hz
640×480	43.27	85.01	VGA 85Hz
640×400	37.86	85.08	VGA 400ライン
800×600	37.88	60.32	SVGA 60Hz
800×600	48.08	72.19	SVGA 72Hz
800×600	46.88	75.00	SVGA 75Hz
800×600	35.67	85.06	SVGA 85Hz
1024×768	48.36	60.00	XGA 60Hz
1024×768	56.48	70.07	XGA 70Hz
1024×768	60.02	75.03	XGA 75Hz
640×480	35.00	66.67	MAC13RGB
848×480	31.02	60.00	
720×485	15.73	59.94	60 フィールド
720×575	15.63	50.00	50 フィールド
640×400	31.50	70.15	NEC PC98 31kHz

※水平、垂直周波数が範囲内でも、入力信号によっては「Out of range」が表示されることがあります。
SVGAでは垂直周波数85Hz以下、XGAでは垂直周波数75Hz以下の信号を入力してください。

本機はVideo、S-video、Comp. video、Decoderモードでは入力信号により下記の信号が設定されています。

主な対応信号（Comp. video,Decoderモード）

水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	対応信号
15.73	59.94	SDTV 480 I
15.63	50.00	SDTV 576 I
31.47	59.94	SDTV 480P
31.25	50.00	SDTV 576P
45.00	60.00	HDTV 720P
37.50	50.00	HDTV 720P
33.75	60.00	HDTV 1080 I
28.13	50.00	HDTV 1080 I

主な対応信号（Video、S-videoモード）

水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	対応信号
15.73	59.94	NTSC
15.63	50.00	PAL
15.63	50.00	SECAM
15.63	59.52	PAL60
15.73	59.94	4.43NTSC

本機の 800 × 600、1024 × 768 モードは縮小補間による圧縮表示です。また画面表示も縮小されて表示します。
本機の補償範囲外の信号を入力すると「Out of range」の表示をします。
入力信号は FEATURES メニュー画面の Information で確認できます。（39 ページ参照）
本書に掲載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

仕様

形名		PDS4229J
画面サイズ		42型ワイド（幅92.0cm×高さ51.8cm、対角105.6cm）
アスペクト比		16:9（ワイド）
質量		28.5kg
外形寸法		103.5（横）×64.0（縦）×8.5（奥行）cm
使用電源		AC100V 50／60Hz
消費電力		350W（待機時2W、瞬間電力800W：電源「入」出画時）
画面寸法		92.0（横）×51.8（縦）cm
表示画素数		852（横）×480（縦）
表示モード		ビデオ、S-ビデオ入力時 ノーマル／ワイド1／ワイド2／ズーム1／ズーム2
		コンポーネントビデオ入力時 ノーマル／ワイド1／ワイド2／ズーム1／ズーム2
		RGB-PC入力時 ノーマル／ワイド／ズーム
		Decoder入力時 ノーマル／ワイド1／ワイド2／ズーム1／ズーム2
表示色数		1677万色（RGB各256階調）
外部接続端子	ビデオ関連	ビデオ映像入力 BNC端子1端子 1Vp-p／75Ω
		Sビデオ映像入力 S端子1端子 Y:1Vp-p／75Ω、C:0.286Vp-p／75Ω
		コンポーネントビデオ入力（色差信号入力） BNC端子3端子 Y:1Vp-p／75Ω Pb／B-Y:0.7Vp-p／75Ω Pr／R-Y:0.7Vp-p／75Ω
	対応方式	NTSC／PAL／SECAM／PAL60／4.43NTSC
	PC関連	RGB入力 mD-sub3列15ピン 1端子 映像信号：0.7Vp-p／75Ω 同期信号：TTLレベル
	制御	RS-232C D-sub9ピン 1端子
動作使用条件		温度0～40℃ 湿度20～90%
付属品		リモコン 1個、単3形乾電池 2本、保証書 1通、取扱説明書 1冊、 フェライトコア 2個、電源コード 1本

・仕様および外観は、改善のため変更することがありますのでご了承ください。
・本機を使用できるのは、日本国内のみです。
・この製品はクラスＡ情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。この際、この製品の利用者は適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。
・この装置は、高調波ガイドライン適合品です。
・「Plasmavision は当社の登録商標です。」

お手入れ

必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。キャビネットや画面前部のフィルター、およびリモコンが変質したり塗料がはげたりすることがあります。

キャビネット／リモコンのお手入れ

柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、よく絞ってからふき取り、乾いた柔らかい布でふき、仕上げてください。

画面のお手入れ

柔らかい布で軽くふき取ってください。
表面は傷つきやすいので硬いものでこすったり、強く押したり、たたいたりしないでください。

通気孔のお手入れ

本体背面にある通気孔は定期的に掃除機でほこりを吸い取ってください。ほこりをためたまま使用すると、本体内部の温度が上昇し、火災や故障の原因となります。

修理をご依頼される前に

故障かなと思ったら次の項目を点検してください。

こんなとき……	確認してください
電源が入らない	電源プラグが正しくコンセントに差し込まれていますか。
映像が出ない	各機器とのケーブルがはずれていませんか。入力機器の電源は入っていますか。 または入力端子や入力モードを間違えていませんか。 入力モード表示がピンク色になっていませんか。特殊設定を行ってる場合があります。元に戻すか、ユーザー調整値の初期化を行ってください。
リモコンが動作しない	電池の入れ方を間違えていませんか。 電池が消耗していませんか。 遠方から操作していませんか リモコンの送信部を本機の受信部に向けないで操作していませんか。 本機とリモコンの間に障害物がありませんか。
ピシッという音がする	室温の変化によってキャビネットが伸縮するために発生する音です。 異常ではありません。
ファーファーという音がする	本機は動作中に内部の温度が上昇するのを防ぐために放熱用のファンが取り付けられています、ファンの回転による風きり音です。
画面に斑点が出る	お手持ちのAV機器が自動車や電車、高圧線、ネオンなどからの妨害電波を受けていませんか。
色や色合いが悪い	映像調整が正しく設定されていますか。（26～27ページ:映像調整参照）
画面位置・サイズがずれている	画面位置・サイズが正しく設定されていますか。（28～29ページ:画面位置調整参照）
「Invalid operation」と表示された場合	「Input priority」が設定されていませんか。 （35ページ：FEATURESメニュー参照）
「Out of range」と表示された場合	本機対応以外の信号が入力されています。適切な信号を入力してください。 垂直周波数はSVGAで85Hz以下、XGAでは75Hz以下の信号を入力してください。
画面が白黒になる	本機対応以外の信号が入力されています。適切な信号を入力してください。 垂直周波数はSVGAで85Hz以下、XGAでは75Hz以下の信号を入力してください。
「Error message Condition1」と表示された場合	ファンの異常です。電源プラグをコンセントから抜いた上で、販売店に点検を依頼してください。
「Error message Condition 2」と表示された場合	装置内温度異常です。電源プラグをコンセントから抜いてください。（温度が下がれば電源の再投入が可能になります。）電源再投入後も点灯する場合は、電源プラグをコンセントから抜いた上で、販売店に点検を依頼してください。
電源ランプが異常点滅をしている場合	点滅の状態を販売店にご連絡ください。電源プラグをコンセントから抜いてください。 電源ランプの点滅のしかたで異常状態を示します。 連続点滅…電源電圧異常、1回点滅…ファン異常、2回点滅…温度異常、3回以上点滅…その他の異常

アフターサービス

必ずお読みください。

保証について

保証書
（本機に添付してあります）
→ 保証書は必ず販売店からお受け取りください。販売店名、お買上げ年月日などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みいただいて、大切に保管してください。

保証期間中の修理
→ 正常な状態でご使用いただきながら故障した場合は、1年間無料修理を行います。保証書が無い場合は、保証期間中でも代金を請求される場合がありますので、よく読んで大切に保管してください。

保証期間経過後の修理
→ 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください、当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の保有期間
→ 当社はこのディスプレイの補修用性能部品を、製造打切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご贈答品などで購入店に修理を依頼できない場合
→ お近くの当社製品取扱店か、本説明書の裏表紙の全国サービスネットワークに記載されている最寄りの当社サービス窓口へご相談ください。

修理を依頼されるとき

次のことをお知らせください
→
- **●形名**…保証書に記載してあります。
- **●故障状態**…できるだけ詳しくお伝えください。
- **●お買上げ年月日**…保証書に記載してあります。
- **●お客様のお名前、ご住所、お電話番号**
- **●訪問希望日**…ご都合の悪い日もお伝えください。

全国サービスネットワーク

修理・お取扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買上げの販売店へお申し付けください。転居や贈答品などでお困りの場合は、最寄りの当社サービスコールセンターへご相談ください。

テレフォンサービス　☎ 044(857)3000、0723（32)3841

URL　http: / / www.fg-cs.co.jp

北海道地区

●サービスコールセンター札幌

北海道全域
☎ 011(251)1858（代）
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

札幌サービスセンター

☎011(241)4622(代)　〒060-0007　札幌市中央区北七条西13丁目9番地の1笹本ビル

サービスステーション

旭川	☎0166(22)0171(代)	〒070-0054	旭川市4条西1-2418

東北地区

●サービスコールセンター仙台

青森・秋田・岩手・宮城・山形・福島地区
☎ 022(239)5233（代）
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

仙台サービスセンター

☎022(239)5106(代)　〒983-0034　仙台市宮城野区扇町3丁目5番5号

サービスステーション

青森	☎0177(38)1371(代)	〒030-0131	青森市問2丁目11番17号
盛岡	☎019(638)5130(代)	〒020-0891	岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3丁目9番5号
秋田	☎0188(67)1281(代)	〒010-0972	秋田市八橋田五郎1丁目12番51号
山形	☎023(633)2611(代)	〒990-0071	山形市流通センター2丁目11番5号
郡山	☎024(922)5570(代)	〒963-8851	郡山市開成2丁目37番23号

首都圏地区

●サービスコールセンター東京

東京地区
☎ 03（3856）6091（代）
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

神奈川・埼玉・千葉・茨城・山梨・群馬・栃木・静岡・長野・新潟地区
☎ 044（861）7700（代）
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

東京第一サービスセンター

☎03(3864)9331(代)　〒111-0051　東京都台東区蔵前4丁目18番6号蔵前柴田ビル

大宮サービスセンター

☎048(668)4812(代)　〒330-0031　さいたま市吉野町2丁目202番地1号

柏サービスセンター

☎0471(67)7163(代)　〒277-0023　柏市中央1丁目9番2号久保ビル

サービスステーション

千葉	☎043(266)6151(代)	〒260-0843	千葉市中央区末広5丁目11番9号
宇都宮	☎028(662)8221(代)	〒321-0912	宇都宮市石井町2578番地
高崎	☎027(328)0711(代)	〒370-0831	高崎市新町6番19号
新潟	☎025(271)2251(代)	〒950-0863	新潟市卸新町1丁目842番地28

東京第二サービスセンター

☎0422(53)6709(代)　〒180-0014　武蔵野市関前3丁目15番10号秋山ビル1階

横浜サービスセンター

☎045(944)3900(代)　〒224-0007　横浜市都筑区荏田南5丁目18番53号

サービスステーション

多摩	☎0426(36)5697(代)	〒192-0914	八王子市片倉町311番1号リーベ片倉1階
松本	☎0263(27)3246(代)	〒390-0843	松本市高宮南8丁目12番松本丸和ビル1階
静岡	☎054(247)3411(代)	〒420-0804	静岡市竜南3丁目17番22号
浜松	☎053(464)0068(代)	〒435-0048	浜松市上西町35番5号

中部地区

●サービスコールセンター大阪

愛知・岐阜・三重・石川・福井・富山地区
☎ 0723(32）3311（代）
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

名古屋サービスセンター

☎052(775)1847(代)　〒465-0028　名古屋市名東区猪高台1丁目1315番地

金沢サービスセンター

☎076(291)2354(代)　〒921-8014　金沢市糸田1丁目71番地

サービスステーション

三重	☎059(232)7407(代)	〒514-0102	津市栗真町屋町1709番地

近畿地区

●サービスコールセンター大阪

大阪・京都・和歌山・奈良・兵庫・滋賀地区
☎ 0723(32）3311（代）
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

大阪サービスセンター

☎06(6304)1593(代)　〒532-0012　大阪市淀川区木川東2丁目2番10号

松原サービスセンター

☎0723(31)9281(代)　〒580-0004　松原市西野々2丁目1番45号

サービスステーション

京都	☎075(681)3190(代)	〒601-8342	京都市南区吉祥院東前田町6番地

中国・四国地区

●サービスコールセンター大阪

広島・岡山・鳥取・島根・山口・香川・徳島・愛媛・高知地区
☎ 0723(32）3311（代）
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

広島サービスセンター

☎082(503)5118(代)　〒733-0034　広島市西区南観音町17番9号

高松サービスセンター

☎087(885)1111(代)　〒761-8084　高松市一宮町258番の1

サービスステーション

岡山	☎086(244)4217(代)	〒700-0975	岡山市今1丁目13番33号
松江	☎0852(21)9014(代)	〒690-0015	松江市上乃木9-2-17シェルプラン102
松山	☎089(934)0857(代)	〒790-0952	松山市朝生田町7丁目1番32号

九州地区

●サービスコールセンター福岡

福岡・大分・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島地区
☎ 092(542）0500（代）
Fax 0120-070-220（フリーダイヤル）

福岡サービスセンター

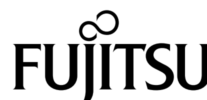
☎092(552)1435(代)　〒815-0031　福岡市南区清水2丁目9番29号

サービスステーション

北九州	☎093(921)4572(代)	〒802-0064	北九州市小倉北区片野4丁目3-18木村ビル1階
長崎	☎095(837)8246(代)	〒851-0134	長崎市田中町1235番2号
大分	☎0975(58)1524(代)	〒870-0907	大分市大津町1丁目14番2号
熊本	☎096(360)3981(代)	〒862-0913	熊本市尾の上4丁目11-47号ミヒロビル
鹿児島	☎099(255)6505(代)	〒890-0073	鹿児島市宇宿3丁目17番13号

※住所・電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。

（平成13年5月現在）



株式会社 富士通ゼネラル
〒213-8502　川崎市高津区末長1116番地